



おもしろい
大学

富山大学
University of Toyama

2027

医学部

School of Medicine

学部案内

医学科

看護学科

Science&Art



沿革

再編・統合前 富山医科薬科大学	
昭和50(1975)年	富山医科薬科大学設置 医学部医学科設置
昭和51(1976)年	薬学部設置(旧・富山大学より移行)
昭和53(1978)年	和漢薬研究所(現：和漢医薬学総合研究所)設置(旧・富山大学より移行) 大学院薬学研究科(博士課程)設置
昭和54(1979)年	附属病院設置・開院
昭和57(1982)年	大学院医学研究科博士課程(生理系専攻, 生化学専攻, 形態系専攻, 環境系専攻)設置
平成5(1993)年	医学部看護学科設置
平成6(1994)年	附属病院が特定機能病院に承認
平成9(1997)年	大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻)設置
平成15(2003)年	大学院医学系研究科修士課程(医科学専攻)設置
平成16(2004)年	大学院医学系研究科博士課程(認知・情動脳科学専攻)設置 医科学専攻と認知・情動脳科学専攻の2専攻に改組
再編・統合後 富山大学	
平成17(2005)年	旧・富山大学及び旧・高岡短期大学と再編・統合し, 新・富山大学(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部, 医学部, 薬学部, 芸術文化学部)となる
平成18(2006)年	大学院薬学研究科, 大学院医学系研究科, 大学院理工学研究科を統合・改組し, 大学院生命融合科学教育部, 大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部を設置
平成20(2008)年	附属病院専門医養成支援センター設置
平成22(2010)年	附属病院が富山県がん診療人材育成拠点病院に指定
平成27(2015)年	大学院医学薬学教育部博士後期課程(看護学専攻)設置 医学教育センター設置
令和4(2022)年	大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部, 生命融合科学教育部を統合・改組し, 大学院総合医薬学研究科, 大学院医薬理工学環等を設置
令和7(2025)年	医学部設置50周年

東西の知の融合

―地域と世界で活躍できる医療人・医学研究者の養成―



富山大学医学部は、1975年に富山医科薬科大学医学部として開学し、2025年で創立50周年を迎えました。建学の理念は論語の「里仁為美」であり、「仁の精神（思いやりの心）」をもって地域と世界で活躍できる医療人の養成を使命としています。現在までに医学科4,413名、看護学科2,249名の卒業生を輩出しており、医療、研究、教育、行政の各領域において、富山県内だけでなく、国内・海外で多くの卒業生が活躍しています。

富山大学医学部は、その源流である富山医科薬科大学の理念を踏まえつつ、「くすりの富山」の伝統をうまく活用しながら、医学と薬学の融合、西洋と東洋の融合、基礎と臨床の融合を目指し、質の高い教育や研究、社会貢献を行っています。特に、脳科学領域や感染症・免疫学、未病・老化研究領域では非常にレベルの高い最先端の研究が行われており、世界中から注目される研究成果を数多く発表しています。また、医学部と薬学部が一つのキャンパスに機能的に集約されている「地の利」を活かし、医学生、看護学生、薬学生に対する合同教育の受講を通じて、現代医療に求められる多職種連携の精神を涵養します。

医学科では、国際基準に準拠した教育を行っており、最新の基礎医学から臨床医学、地域医療から高度医療まで幅広く学ぶことができるカリキュラムになっています。一方で、詰め込み型教育から脱却すべくカリキュラムのスリム化を行い、学生が能動的に学べる環境を整えてきました。例えば、臨床実習では、地域医療実習などを取り入れ、長期間地域の病院で学ぶことで、地域で求められる医療を主体的に学ぶことができます。また、研究室配属や研究医養成プログラムを通して、先端的な医学研究を学部生時代から行っており、多くの学生が研究成果を論文や学会などで発表しています。

看護学科の教育の特徴としては、全国で数少ない4年制課程で看護師、保健師、助産師の受験資格を同時に取得できる教育カリキュラムがあります。臨床実習では、病院だけでなく保健所などの行政機関でも実習を行い、将来看護師・保健師・助産師のどの道に進んでも、複眼的な視野で医療を見ることができる経験をすることができます。さらには、卒業研究を通して、看護研究を行うことで、将来の看護学を牽引するリーダーを養成します。また、大学院では、研究者コースだけでなく、専門看護師（CNS）コース、診療看護師（NP）コースを修士課程に開設しており、より高い専門性と優れた看護実践能力をもつ看護人材養成を行っています。

さらに世界で活躍できる視野を涵養するべく、国際交流にも力を入れており、欧米や豪州、アジアの大学と相互交流を行い、多くの学生に海外で医学・看護学研修を行う機会を提供しています。

高度な知識と技術は、高い精神性の上に築かれてこそ、社会にとって有益なものとなります。また、富山は素晴らしい自然と文化に囲まれ、海の幸をはじめとして食べ物も非常においしいところです。この恵まれた環境にある富山大学医学部で、「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人・医学研究者を目指しませんか。

皆様を心からお待ちしています。

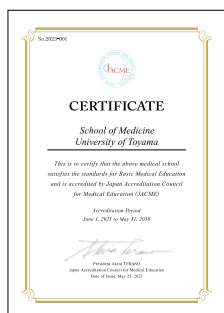
富山大学医学部長 中川 崇



建学理念「里仁為美」



Accredited
2023-2030



国際認証

「学びも生活も、リアルに語るキャンパスライフ」

富山大学に進学した理由・動機

山田（看）

保健師志望なので富山大学を選びました。他大学では選択制の場合も多いですが、富山大学は統合カリキュラムを採用しているので全員が国家試験の受験資格を得ることができます。



岐阜県関高等学校卒業
看護学科3年
山田 遥加

松岡（看）

地元が好きだからですね。9学部ある総合大学でサークルや部活の数も多く学生生活を充実させることができそうだなと思って選びました。

小泉（医）

僕も富山愛に満ちているので（笑）富山の地域医療に貢献したいと思っています！

宮澤（医）

私は住みたい地域で勉強したいと思ったからです。都会のキラキラしたキャンパスライフに憧れたこともあったけど、自分が暮らしたい場所を最優先に選びました。あと研究の視点も持ちたいと思っていて、今実際に第三内科と病理診断学で臓器に関する研究に携わることができています。学会発表も何度も経験できたので、そういう環境はありがたいなと思います。

三沢（医）

私は関東出身なので新しい環境に飛び込んでみたいという気持ちが強かったです。高校の自主学習で漢方をテーマに学んだことがあって、そこから富山大学に興味を持ちましたし、部活動の先輩が進学していたのが大きいですね。実際に入ってみると、みんなの仲間意識が強くアットホームで安心感があります。先生方もフレンドリーで距離が近いのも魅力です。

大学の授業って高校とどう違う？

三沢（医）

大学に入ってまず感じたのは、「思った以上に自由だな」ということでした。1年次の教養教育は選択科目も多いので時間割も自分で組めますし、その分うまくやらないといけない責任もあって。高校みたいにホームルームもないので、最初は少し落ち着かない感じもありましたね。ただ、段々「自分で決めて動くのが当たり前」になってきました。



千葉県渋谷教育学園幕張高等学校卒業
医学科4年
三沢 博香

小泉（医）

周りも同じ分野を目指している人ばかりなので、自然と勉強する空気ができてましたね。

松岡（看）

自由度が高い分、自分から動かないと何も始まらないというのはすごく感じましたね。逆に言うと、やりたいことがある人にはすごく合っている環境で、勉強も課外活動も、自分次第でいくらでも広げられると思います。

山田（看）

高校までとは全然違うと感じました。課題や実習の準備は自分で計画しないと回らなくて、「自分で管理する力」がすごく求められるなと思いました。

医学科の授業・カリキュラムについて

三沢（医）

医学科では2年生になると一気に雰囲気が変わって、基礎医学に関する必修科目がかなり増えます。大学受験勉強でいうと、青チャートで基礎をしっかりと固めていくような段階です。量も多いですし、特に「解剖学」は覚えることが多くて大変でした。

小泉（医）

3年生以降は臨床医学の授業が始まって具体的な病気の名前や病態を学び始めます。

2年生までに学んだ知識とつながっていく感じがありますね。実際の症例をイメージしながら、「この症状ならどう考えるか」といった思考が求められるので、単なる暗記ではなくて理解の深さが問われるようになります。そこが難しくもあり、面白いところでもありますね。

三沢（医）

富山大学が力を入れている「和漢診療学」も最初は正直ちょっと戸惑いました。「水毒って何だろう？」みたいな（笑）。でも体系的に学んでいくと、臨床の中でも使える考え方なんだと段々腑に落ちてきました。西洋医学とは違う視点を持てるのは大きいと思います。

宮澤（医）

「研究医養成プログラム」もあって、早い段階から研究に触れられるのもいいですね。臨床だけでなく、「研究する」という道も現実的な選択肢として見えてくるので、進路を考える上でも視野が広がると思います。



静岡県静岡サレジオ高等学校卒業
医学科6年
宮澤 正咲

看護学科の授業・カリキュラムについて

松岡（看）

1年生の専門科目では「看護とは何か」という概念的な内容を学びました。バイタル測定やシーツ交換などの実習を含む授業もあります。シーツ交換はしわが1つも残らないよう友達と練習しました。

山田（看）

2年生になると領域別の授業*が始まります。また、「疾病学」「薬理学」等、医学的な内容も教わります。夏には病院での基礎看護実習もあって、実際の現場を見ることで、授業で学んだことと現実が結びつく感じがしました。

※例：小児看護学、精神看護学

松岡（看）

領域別の看護学を学ぶようになってから、教科書で得た知識が、実際の臨床現場でどのような援助につながるのかを具体的に結びつけて考えられるようになりました。



富山県富山高等学校卒業
看護学科4年
松岡 聖音

山田（看）

病名を知るだけでなく、「その病気で生活がどう変わるのか」と考えられるようになったのが大きな変化だと思います。

医学科・看護学科・薬学部との関わり

小泉（医）

入学直後に行われた立山研修はすごく印象に残っています。医・看・薬でグループを組んで心肺蘇生の実習をやるんですけど※、そのときに一緒だったメンバーとは今でも連絡を取り合っていますし、たまに集まったりもしています。学部を越えたつながりができる貴重な機会だったと思います。

※現在は立山研修とは別日に実施

三沢（医）

部活でも医・看・薬のつながりは感じますね。先輩後輩の関係も含めて、学部が違って自然に関わる機会がありますし、そういう中でいろいろ情報交換もできています。

山田（看）

医療現場では多職種で連携するのが当たり前なので、学生のうちからそれを経験できるのは大きいと思います。単なる授業の枠を超えて、将来ともに働く仲間として関係性を築ける点が、大きな魅力だと感じています。

学びを支える施設

小泉（医）

図書館は専門書も多くて、勉強する場所としてかなり使いやすいです。静かな環境で集中できるので、試験前は特にお世話になっています。

宮澤（医）

24時間使える自習室もありがたいですね。時間を気にせず勉強できるので、「もう少しやりたいのに終わり」ということがなくて助かっています。

松岡（看）

看護学科はレポート課題が多いので情報処理実習室をよく利用します。実習の記録を夜遅くまで書くこともあって、大学で友達と一緒に作業できるのはありがたいです。

部活・サークル活動は？

三沢（医）

部活に入っている人はかなり多いと思います。私は管弦楽団に入っています。勉強との両立は大変なときもありますが、良いリフレッシュになりますし、学年や学部・学科を越えたつながりもできて楽しいです。

宮澤（医）

情報共有の場としての役割も大きいですよ。試験のこととか実習のこととか、先輩から具体的な話を聞けるのはすごく助かりますし、「この授業はこういう対策をした方がいい」といった実践的な情報も回ってきます。

小泉（医）

社会貢献活動をしている団体もあって、小児科への訪問や救急トレーニングの支援、病院での演奏などに関わっている人もいます。大学の外とつながる経験ができるのは貴重だと思います。

アルバイトについて

三沢（医）

1・2年生のうちは比較的時間に余裕があるので、アルバイトをしている人は多いです。塾講師や家庭教師、飲食店が多いですが、単にお金を稼ぐだけでなく、社会経

験としてやっている人が多い印象です。

小泉（医）

医療系キャンパスならではのアルバイトもあって、医療事務や大学内で実験動物の世話などに関わっている人もいます。普通のアルバイトとは少し違った経験ができるのは面白いところだと思います。



富山県高岡高等学校卒業
医学科3年
小泉 慧大

松岡（看）

附属病院で看護助手などをやっている人もいますよね。現場の雰囲気を知るきっかけにもなると思います。

住まい・生活について

山田（看）

住む場所は五福と杉谷で半々くらいですけど、好みだと思います。五福は買い物に便利で生活しやすいですし、杉谷は通学が楽ですね。

三沢（医）

最初は通学が不便かな？と思っていたんですが、先輩が車に乗せてくれたりすることもあって、実際にはそこまで困ることはなかったですね。

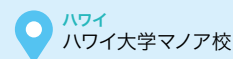
宮澤（医）

学年が上がると生活リズムも変わってくるので、途中で住み替える人もいますし、「どちらが正解」というよりはバランスで選んでいく感じだと思います。

学生一同、皆さんと同じキャンパスで学べる日を楽しみにしています。ぜひ私たちと一緒に、充実した大学生活を送りませんか。将来の医療を担う一歩を、ここから一緒に踏み出しましょう。



地域から世界に 医療人はグローバル



富山大学医学部では、医学科・看護学科の学生を対象に、海外の医療・看護の現場で学ぶ国際交流プログラムを実施しています。

低学年では国際医療や異文化への理解を深める研修を、高学年では海外の医療機関での臨床実習を行い、**学年に応じた段階的な学びを提供**しています。

語学研修にとどまらず、**英語を用いて医療を学ぶ実践的な経験**を通して、**国際的な視野を持つ医療人の育成**を目指しています。

海外医学演習

海外医学演習とは、低学年の早期から海外の医療現場にふれ、国際医療への理解と学修意欲を高める研修です。

私は夏休みの期間を利用して3週間の海外医学演習に参加しました。場所はインドネシアのスラウェシ島。聞いたこともない島での研修に、始まるまでは正直不安でした。しかし、受け入れ先のハサヌディン大学の先生方や学生の手厚いサポートにより、安心して研修に臨むことができました。

この研修では、病院見学がメインでした。町の診療所から大学病院まで、島の幅広い医療を学びました。熱帯地域に属するインドネシアでは、感染症患者が日本よりも圧倒的に多く、教科書でしか見たことのない疾患の症例を経験したことで、より疾患に関する知識が定着したと感じています。

実習のない週末には、島の観光地に連れて行ってもらったり、ショッピングモールに出かけたりして、アクティビティも存分に楽しめました。多くのショッピングモールに、日本の飲食チェーン店が出店しているので、日本食が恋しくなった時も安心です。

医学部は授業や実習が詰まっていたなかなか海外留学に行くことができない中で、海外の医学部での研修に参加できたのは、とても貴重な機会だったと思います。将来海外で医師として働きたい方、海外の友達を作りたい方、ぜひ参加してみてください。

医学科5年 野崎 光琉

インドネシア・ハサヌディン大学



マレーシアでの海外研修は、私にとって非常に貴重な経験となりました。現地の看護学生が受講している授業に実際に参加できる留学プログラムは珍しく、国際交流と看護の両方に興味があった私にとって、理想的な機会でした。

現地の学生は学習意欲が高く、学生同士が主体的に意見を交わす授業スタイルは日本とは大きく異なり、多くの刺激を受けました。特に印象的だったのは、鼻腔ぬぐい液の採取演習です。日本では模型を用いた演習が一般的ですが、現地では模型での練習に加え、学生同士で演習を実施しており、より実践的な学びを得ることができました。

また、教員数が多く、学生との距離も近いので、疑問点をすぐに質問できる環境が整っていたことも印象に残っています。このように、同じ志を持つ海外の学生と交流する経験は、物事を広い視野で捉える力を養うとともに、学習へのモチベーション向上にもつながりました。さらに、このプログラムで出会ったマレーシアの看護学生とは今でもつながりがあり、私が自己向上に努める上での大きな原動力となっています。

この経験を通して、国際交流や海外の看護教育に興味のある人には、ぜひ挑戦してほしいプログラムだと感じました。

看護学科3年 丸山 明依

マレーシア・サンウェイ大学



ーどうしてアジア？ー 低学年の海外医学演習に東南アジアを選ぶ理由

「海外医学演習」では、実習先として東南アジアの医療機関を選定しています。

日本から地理的に近く、渡航時間や生活環境の面でも負担が比較的少ないことから、**初めて海外で医療を学ぶ学生にも取り組みやすい環境**が整っています。また、渡航費や滞在費を抑えられる点も、低学年での実施に適した理由の一つです。

一方で、医療制度や医療資源、患者背景には日本や欧米諸国とは異なる点も多く見られます。こうした**医療現場のギャップを早期に体験**することで、医療の多様性や社会的背景を意識した学びにつなげることができます。

海外派遣先

▶ 選択制臨床実習（医学科）

選択制臨床実習とは、高学年次の選択制臨床実習の一部として、海外の医療機関で臨床実習を行う制度です。英語を用いて診療や医療体制を学び、国際的な視野と実践力を養います。

オーストラリア・Riverland General Hospital

私は南オーストラリア州のベリーという小さな町にあるRiverland General Hospitalで臨床実習を1ヶ月間させていただきました。まず、オーストラリアに到着して当たり前のことではありますが最初に2つのことを感じました。第一に、2月に渡豪したこともあって「とても暑い」。第二に、「見るもの、聞くもの全てが英語」。そんな印象を抱きながら臨床実習が始まり、そこで医療体制、保険制度、common disease、承認されている薬は異なるものであり、日本での「当たり前」がオーストラリアでの「当たり前」ではなく、逆もまた然りであるということがとても印象的でした。臨床実習では患者さんの問診、身体診察を行なって治療方針の上級医への提案までやらせていただき、問診と治療方針の上級医への提案においては「日本語では分かるけど英語ではどのように伝えるのだ」と言語の壁を痛感しました。少し脱線しますが、臨床実習が始まって以降、臨床実習で指導していただいた先生の持つ膨大な知識量をもとにされる的確な判断や診療に日々感じています。医学生の方はまだ学ばなければならない事が多く、臨床の場では医学の壁を感じています。そこで、今回の海外実習を通して2つの壁に同時にぶち当たったことで、今後は両方の壁を超えられるよう日々研鑽していきたいと思いました。また、実習以外ではオーストラリアのおいしい食べ物や豊かな自然に触れ、勉強になったと同時にとても楽しい時間を過ごす事ができました。最後になりますが、この海外臨床実習はとても楽しく有意義でしたので、少しでもいいなと思った方は行かれることを強くお勧めします！

医学科6年 中村 海友

ドイツ・ルール大学



ドイツのHDZ-NRWでの病院実習では、日本ではなかなか経験することのできない多くの心臓外科手術を見学させていただきました。HDZ-NRWは心臓外科を専門とする施設で、手術件数が非常に多く、実習期間中は毎日のように手術室でさまざまな症例を見学することができました。

特に印象に残っているのは、心臓移植手術を見学できたことです。日本では症例数が限られているため、学生の段階で実際の心臓移植手術を見る機会はほとんどありません。しかし、HDZ-NRWでは心臓移植が月平均約2.3件行われており、その一連の流れを間近で観察することができ、高度な技術とチーム連携に強い感銘を受けました。

また、ドイツと日本の医療保険制度や医師の勤務体系の違いについても学ぶことができ、医療体制の違いが臨床現場にどのように影響しているのかを考える貴重な機会となりました。

加えて、交換留学を通じて現地の学生やスタッフの方々と交流し、今後富山大学を訪問予定の学生とも親睦を深めることができました。国や言語の違いを越えて、同じ医学を学ぶ仲間としてつながることができたことも、本実習を通して得られた大きな財産の一つです。

医学科6年 矢郷 睦

ドイツ・ルール大学



4週間にわたるドイツHDZ-NRWでの実習は、日本ではあまり経験できない多くの学びを得ることができました。HDZ-NRWはドイツでも有数の心臓外科専門施設であり、毎日複数の心臓手術が同時進行で行われています。そこで心移植を含む高度な症例をたくさん見学できたことは非常に貴重な経験でした。手術見学では、術式や手術で使用するものの違いだけではなく、手術室全体の雰囲気やコメディカルスタッフとの連携など、現場にいるからこそ感じられる多くの発見がありました。また、先生方は手術中であっても丁寧に質問に答えてくださり、理解を深めながら実習に参加することができました。また、小児心臓外科を回った際には現地の学生と手術の内容や将来のキャリアなど、さまざまなことを議論する機会があり、異なる環境で学ぶ仲間と交流できたことは大きな刺激となりました。さらに、さまざまな国籍の医師

が協力して医療を行う姿を実際に見ることで、多様性の中で成り立つ医療のあり方を学ぶことができました。海外実習は日本での実習とは異なる点も多く、私にとって大きな挑戦でしたが、たくさんの貴重な経験や学びを得ることができた時間となりました。

医学科6年 佐藤 京

多職種連携教育

総合大学の強みを生かした 医学・看護学・薬学の合同教育が 将来の多職種連携の

礎となる

五福キャンパス
・教養教育

杉谷キャンパス
・専門教育

1年次

「医療学入門」の
合同教育

2年次

「和漢医薬学入門」の
合同教育

3年次

「疫学」「感染症」の
合同教育

4年次～

保健・医療・福祉・
介護の現場での
多職種連携教育

心事を持つ学生と交流を深めることができます。医療人は、多様な価値観と関心事を持つ患者さんを理解して寄り添う能力が必要であり、貴重な人生経験となることでしょう。

合同教育による多職種連携能力の育成

現代医療は、医師・看護師・薬剤師等医療職の高度の専門性と、それらの医療職の連携によるチーム医療の展開に特徴づけられます。

こうした多職種連携能力を身につけるために、富山大学医学部では総合大学の強みを生かした入学から卒業まで継続した合同教育を実施しています。

「教養教育」における9学部の合同教育（1年次）

富山大学は9学部（人文学部、経済学部、教育学部、理学部、工学部、都市デザイン学部、医学部、薬学部、芸術文化学部）からなり、約8,000名の学部生と約1,300名の大学院生が3つのキャンパスで勉学に励んでいます。

すべての学部の1年次生は、五福キャンパスで一緒に教養教育を履修します。また、多数の課外活動団体が活発に活動しており、学部を超えて多様な価値観と関

医学・看護学・薬学の合同教育（1年次）

医学・看護学・薬学の専門教育としては、多職種連携能力を涵養するために、1年次から合同教育が行われています。医療倫理、患者・医療従事者関係、コミュニケーション技法、障害者・高齢者の医療、薬害、医療と地域社会などを合同で学修します。また、新入生医療学研修（立山研修）、心肺蘇生講習会、介護体験実習、富山県立イタイタイ病資料館見学などを行います。

これらの多岐にわたる合同教育により、それぞれの専門職の自覚が芽生えます。また、グループ学修、全体

新入生医療学研修



心肺蘇生講習会



討論といった経験を通じて、「よき医療人(プロフェッショナル)」となるための総合的な能力を修得します。

「和漢医薬学入門」における合同教育 (2年次)

富山大学の特徴の1つは、「東西医学の融合」です。歴史ある世界水準の和漢医薬学総合研究所があり、また、附属病院では和漢診療科が東洋医学と西洋医学を融合した医療を実践しています。

このような富山大学の特徴を生かして、2年次の合同教育として「和漢医薬学入門」が開講されています。和漢医薬学の研究や臨床などを講義と実習により学修します。卒業生は、西洋医学だけではなく東洋医学にもとづく医療が実践できます。富山大学で学ぶ大きなメリットの1つと言えます。

また、看護学科2年次の「成人看護論Ⅰ」では、看護学科と医学科の教員が連携して、講義や演習を行います。その結果、看護学と医学の考え方の共通点と相違点を踏まえた将来の多職種連携の素養が涵養されます。

「疫学」「感染症」における合同教育 (3年次)

医師や看護師、薬剤師は、科学的根拠(エビデンス)にもとづいて患者さんに最善を尽くすことが求められます。3年次の合同教育である「疫学」では、医学研究や看護学研究における調査手法、分析手法、結果の解釈を、講義と演習により学修し、人を対象とした研究にもとづくエビデンスを提供する学問を学びます。

また、世界的な新型コロナウイルスのパンデミックを受けて医学科、看護学科、薬学部で「臨床現場」をイメージした多職種連携教育が新設され、感染症に関するグループ学修が行われています。

看護学科3年次の「老年看護学総論」では、高齢者

とその家族の健康及び生活の質を高めるため、多職種連携によるチームアプローチを用いた老年看護の役割について深く考える機会が設けられています。

保健・医療・福祉・介護の現場での 多職種連携教育(4年次～)

医学科は、4年次後期から、看護学科は、4年次少し前から富山大学附属病院や地域の中核病院等での実習の中で、医療チームの一員として、医師、看護師、薬剤師、介護士、事務職員などとの多職種連携による医療経験を多く積みます。

自職種の専門性と全ての職種に必要な全人的な態度と連携能力を身につけます。このように、入学から卒業までの合同教育を通じて多様な価値観と関心事を尊重し、自職種の専門性と多職種連携能力を涵養する機会があります。地域社会や国際社会に貢献できる意思と能力を身につけることができる最適な環境が提供されています。

多職種部門ローテーション実習 (4年次～)

医学科4年次から始まる臨床実習では、令和6年度より1週間の多職種連携実習が導入されました。富山大学附属病院内の医療安全部門、地域連携部門、放射線部、薬剤部、栄養科などを中心に、医師としても重要な連携部門であるにも関わらず、その業務内容を学ぶことがほとんどない多職種の働いている部門を臨床実習の一環としてローテーションします。医師になった後にお世話になることが多いこれらの部門を学生のうちから理解できるようにしています。多職種の役割の理解を通じて、医師としての役割やプロフェッショナルリズムへの洞察が深まります。

医学科カリキュラムの特徴



6年一貫教育により、高度な知識と技術をもつ
人間性豊かな医師や医学者を養成します

医学科長 貝沼 茂三郎

医学科では入学から卒業まで6年間を過ごします。この6年は初年次教育から始まり、専門教育として基礎医学・臨床医学・社会医学を学び、臨床実習を経て、医師の資格に必要な医師国家試験を受験することになります。本学は医療系の学部が同じキャンパスに集まっているため、将来異なる職種に就く人たちと、学修や実習、課外活動を共に取り組む機会があります。また、希望者には在学中から研究に取り組む機会も設けられています。

初年次教育（1年次）

1年次生では、専門教育で必要となる基礎的な教養を学修するほか、皆さんが興味のある科目を選択して学修することができます。このような教養教育に加えて、医療人としての入門科目も入学直後より始まります。1年次前期の「医療学入門」は、医学科・看護学科・薬学部の学生を対象としているもので、医療を取り巻く諸問題についてグループワークを行って一緒に考えて教育が行われます。薬害、イタイタイ病、介護、心肺蘇生などについて多角的に学修し、この時期から医療人としての自覚を芽生えさせることで、医療人として必須のプロフェッショナリズムの基盤を形成していきます。後期の「医学概論」では、複数の教員が最新の医学を紹介しながら自身の医師としてのキャリアを考えていきます。



「イタイタイ病資料館見学」（医療学入門）

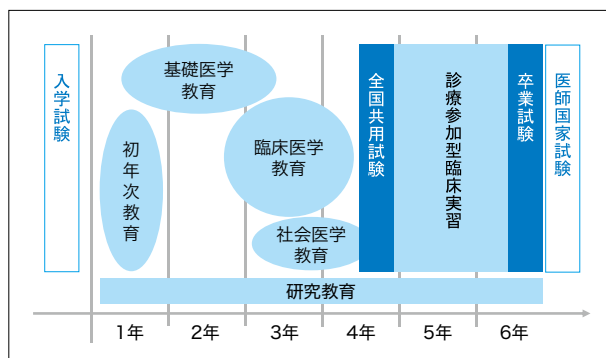
基礎医学教育（1年次後期～2年次）

1年次の後期以降になると専門教育が始まります。人体

の正常な構造や機能、生命現象を維持する仕組み、生体防御の仕組みなどについて学び、これらを基礎医学と呼んでいます。基礎医学を理解しておかなければ、病気や治療について理解することができません。具体的には、解剖学、組織学、生理学、分子生物学、微生物学、免疫学、薬理学、病理学、行動科学、放射線基礎医学などを、2年次の後期までに講義と実習を通して学修します。

臨床医学教育（3年次～4年次前期）

3年次になると、病気についての学修が始まります。すべての分野について、病気のメカニズム、分類、診断、治療、予防について学修し、これを臨床医学と呼んでいます。臨床医学では、実際に専門的に診療を行っている教員が講義を担当しますが、基礎医学で学んだことを活かしてより理解を深めるために、講義の一部は基礎医学の教員も担当します。つまり、基礎と臨床が連携して教育を行う統合型カリキュラムが特徴です。臨床医学ではすべての診療科の科目と、それぞれの診療科を支える部門である臨床検査、リハビリテーション、病理診断、放射線診断などの科目について学修します。



医学科カリキュラム概要

社会医学教育（3年次後期～4年次前期）

社会医学とは、疾病につながる背景にも視野を拡げ、社会全体の健康水準の向上を目指す医学です。例えば、ある病気についてどれほどの人がかかるのだろうか、どのようなことがその予防になるのだろうか、社会の仕組みとして解決できることがないだろうかということなどが含まれます。新型コロナウイルスの流行を通して、社会医学の重要性が認識されています。具体的には、疫学、予防医学、医学統計学、公衆衛生学、救急災害医学、病院経営学、法医学などについて講義と実習形式で学修します。地域社会との密接な連携や協働は極めて大切なため、行政機関や医師会、地域病院等の協力も得て、保健・医療・福祉・介護のシステムや連携体制を体系的に理解します。これらは3年次後期に行われ、地域の実情に合った保健医療の実践に必要な知識と技術を修得します。

診療参加型臨床実習 （4年次後期～6年次前期）

基礎医学、臨床医学、社会医学を学修したあとの4年次生の半ばには、臨床実習に参加するために必要な試験があります。この試験は全国のどこの医学部でも行われるもので、臨床実習へ進むにあたり十分な知識・技術・態度を修得しているかを全国共用試験（コンピュータによる試験（CBT）と客観的臨床能力試験（OSCE））によって評価します。



2025年度 臨床実習生（医学）証授与式

臨床実習



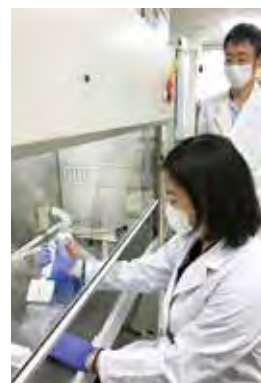
全国共用試験に合格すると、4年次生の後期からの臨床実習が始まります。臨床実習は見学ではなく、実際に診療に参加することが求められます。富山大学附属病院の全診療科を1年間かけてローテーションしながら、技術を修得し、プロフェッショナリズムを磨き、それまでの学修内容の理解

を深め整理を行っていきます。さらにその後の半年は、発展した実習形式として、希望する診療科、地域の医療機関、海外の施設で実習を行う選択制臨床実習を行います。つまり、合計約1年半をかけて実習が行われます。

その後は、卒業試験を経て、例年2月に行われる医師国家試験に向けての準備を進めていくこととなります。

研究教育（1年次～6年次）

現代の医療を支えるものは科学的根拠です。科学的根拠を生み出すには研究が必要となりますが、本学では在学中に研究を行う体制も整っています。2年次の「研究室配属」では、研究室に2か月ほど所属して研究を行い、英語文献を読む力や、データの収集・分析力、研究発表能力を養います。



研究医養成プログラムにおける研究風景

より研究志向を持つ学生は、「研究医養成プログラム」を選択し、在学期間を計画的に使って研究を行います。通常の講義・実習以外の時間で取り組むため、試験勉強や課外活動などと両立しながら、最終的には学会発表や論文公表を行います。このプログラムを修了すると、本学の大学院博士課程（4年制）を3年間に短縮して博士号を取得することもでき、キャリアアップにつながります。

総合的な学修支援

6年間のカリキュラムを経て医師免許取得までには、あくなき向上心とたゆまぬ努力が不可欠です。そのため、本学は学生を支援する様々な環境を整えています。たとえば、24時間利用可能な図書館は、多くの学生が昼夜勉学に励む場所として利用されています。カリキュラムに係る会議は、学生と教員で話し合いながら教育の改善を図っています。また、クラス担任制度とグループ担任制度があります。前者は学年に4名の担当教員が配置され、必要に応じて修学や生活面での面談などを行っています。後者は1年次生～6年次生までの学生からなる小グループに担当教員がつき、時々集まって話をするなどで、下級生が先輩や教員の話の聞いたりアドバイスをもらったりすることができます。お互いに支えあいながら前進していく体制があることは、本学の医学教育の特徴です。

看護学科カリキュラムの特徴



統合カリキュラムによって
時代の変化に強い医療者を養成します

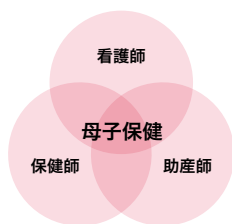
看護学科長 長谷川 ともみ

取得可能な資格・免許

- 看護師，保健師，助産師の国家試験受験資格
(助産師は選抜による助産コース専攻者のみ取得可)
- 養護教諭二種免許状

統合カリキュラムの特徴

看護学教育において、保健師、助産師、看護師等の国家試験受験資格が取得できるようにカリキュラム構成されたものを統合カリキュラムと言います。国立大学でこの3つの国家試験受験資格が同時取得できるのは、本校含めて現在4校のみです。他大学では、統合カリキュラムと称していても保健師や助産師は選択になっているところが多です。病院で勤務する看護師にとっても保健師の視点は重要であり、地域包括ケアシステムに代表されるような施策に強い看護ができることは看護職のスキルアップにもつながりますし、就職活動においても選択肢を拡げ、生涯を通じての多様化する働き方も可能にしてくれることでしょう。国家試験問題においても3つのライセンスに共通して出題される部分として母子保健があります。4年制大学で統合カリキュラムを学ぶことによって、将来、病院等で行われる委員会や研修会においてもアカデミックな発言・提案ができる能力が養われます。



1年次カリキュラム

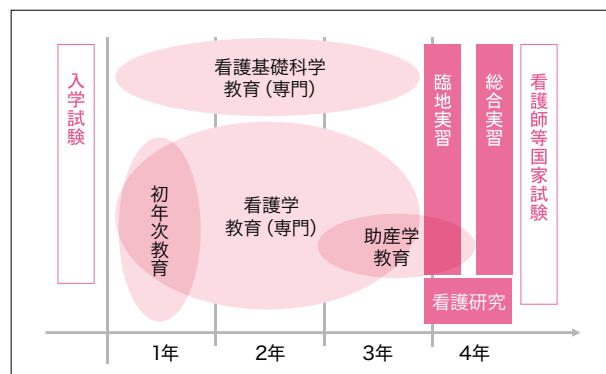
1年次の教養教育では、幅広い学問を身に付け大学生としての基礎的で汎用性のある科目を修得します。講義は五福キャンパスで行われ、他の8学部の学生とも交流しながら学修を進めることが出来ます。富山大学の学部学生は全学年で約8,000人であり、異分野交流を通して考え方の違いやお互いの学問に対しての意識を高めることもできます。教養科目には外国語系、人文科学系、社会科学系、自然科学系、理系基盤教育系、保健体育系、医療・健康科学系、情報処理系および総合科目系があり、

選択科目が中心で自分に合った科目を選択できます。特徴的なこととしては、英語教育、データサイエンス教育に力点を置いているところ、必修科目として医療学入門という医学科、看護学科、薬学科、創薬科学科が合同で受講する科目があります。また、看護学についても、1年次から看護基礎科学、基礎看護学、身近な医学が五福キャンパスで開講され素養を育んでいきます。



2年次カリキュラム

2年次以降はキャンパスが杉谷に移ります。英語教育、データサイエンス教育は様々な科目の中で継続して行われますが、看護専門科目が始まることは学生にとって大きな節目となるでしょう。2年次以降はほぼ必修科目です。疾病学、薬理学、微生物学といったヒトの身体構造や機能、疾病の機序を理解すること、公衆衛生学、行動科学といっ



看護学科カリキュラム概要

た人々の行動を考える科目が入ります。また、妊婦、産婦に関する母性看護学系の講義が他の専門科目に先んじて前期に開講されます。

基礎看護学では、看護方法論で、広い実習室で援助技術に関して本格的に修得していきます。9月に基礎看護学実習が大学附属病院で行われます。

さらに、くすりの富山と言われるように、古くから和漢薬が発展してきました。その特徴に代表される和漢医薬学入門が開講され、東西医学の融合の実際を知ることが出来ます。この講義は医学科と合同です。気血水のようにヒトを統合体としてフィジカルアセスメントすることは、看護学にも通じます。2年次後期には総論や臨床医学系が中心ですが、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学の講義が開講されます。臨床医学系の講義では、大学附属病院でまさに最先端の治療を行っている医師から講義を受けることが出来るので、実践的かつ最新の医療知識を吸収することが出来るでしょう。



3年次カリキュラム

3年次は専門科目がより各論的に充実するとともに、地域看護学、最近注目されている在宅・訪問看護を学ぶ在宅看護学が始まります。人のくらしに視点が移るとも言えます。本学看護学科は、3年次編入を受け入れているので、編入生はここからがスタートです。前述のごとく、臨床看護領域にとどまらず、保健領域の全分野を網羅できるプロフェッショナルになることを目指します。保健領域では、対象者の看護診断のみならず、市町村の地区診断といった公衆衛生看護学を修得します。地区の人口、産業、健康課題など市町村そのものの特徴をデータから解析します。こういう学修をすると、今まで何気なく手に取っていた市町村の冊子やHPが如何に熟慮されて作り上げられているか感心するのではないのでしょうか。

また、3年次には選択科目がいくつかあります。助産学ゼミナール、助産概論など助産師を希望しなく



ても興味があれば選択できる科目、東洋の知と看護等です。

3年次の後半2月から本格的な臨地実習(領域別実習)も始まります。

4年次カリキュラム

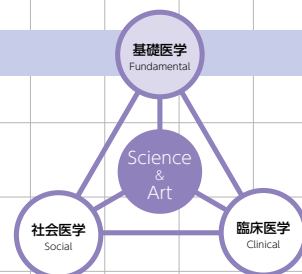
4年次は主として領域別臨地実習が展開され、1グループにつき7～8人で各領域をローテーションします。小児看護学実習、母性看護学実習、成人看護学実習(周手術期・慢性期)、精神看護学実習は大学附属病院で行われるので、最先端の医療に伴った看護学を事例展開します。シャドーイングとよばれる看護師に付き添って行う見学実習も多くあるので、学生は、安心してこれまで机上で学んできたことを実際に見学し、個別性の高いケア技術の意味を再度学んで、体験型の学修を行うことができます。看護学の醍醐味ともいえる感動体験があるでしょう。在宅看護学実習、老年看護学実習、地域看護学実習は、訪問看護ステーション、老健施設、市町村等で実施されます。くらしに寄り添うという意味が体得できるカリキュラムになっています。



また、看護研究も行い、11月には看護研究論文集を作成します。この看護研究は各領域に研究室配属された学生が、学士として必要な仮説の立て方、方法論の妥当性、データサイエンスの実際、結果の示し方、看護学としての考察のあり方、論文の書き方を学ぶことができます。そこから発展させて、総合実習へと学びを深めていきます。総合実習では、仮説検証型の専門性の高い実習内容であったり、自身の看護技術を振り返り追加して実習したい内容を考えたり、基本的に学生自身が主体的に実習計画を立て自己評価していきます。

上記のように富山大学医学部看護学科においては、4年間かけて、じっくりと自分の未来を見つめることが出来ます。

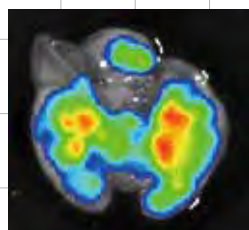




基礎医学の立場から

医学の未来を切り拓く基礎医学

医学部の使命は、目の前の患者さんを救う医療人の育成だけではありません。体の仕組みや病因を解き明かし、治療法を生み出す研究者の育成も重要な柱です。基礎医学とは、研究から未来の医学を支えて、世界中の人々に希望を届ける領域です。



新型コロナウイルスを感染させた
ハムスターの肺

最先端の設備と、学問の枠を超えた挑戦

富山大学杉谷キャンパスには、分子や遺伝子の解析、高度な動物実験を可能にする最先端の設備が整っています。ここには、あなたの知的好奇心を満たし、未知の発見へと導く環境があります。富山大学独自では、睡眠や無意識を解明する「アイドリング脳科学研究センター」や、次世代の抗体開発と感染症の研究を行う「先端抗体医薬開発センター」があり、世界レベルの研究を行っています。また、「薬の富山」ならではの薬学部や和漢医薬学総合研究所との連携、さらには工学・理学部やAI分野とも連携し、総合大学として学部を超えたダイナミックな共同研究が日常的に行われています。

時代をリードする実践力と国際性

研究では、新しい領域に飛び込んで、柔軟に取り組むマインドも重要です。コロナ禍では未知の病原体が相手でしたが、感染症研究は国内外から高く評価され、2023年には日本海側有数の感染症研究拠点となる新施設の整備にもつながりました。海外からの研究留学生も増えており国際化が進んでいますし、医学英語を学

ぶ時間も設けられています。一部の講義・実習では全国に先駆けて英語で導入するなど、語学の壁を越えて世界で活躍できる「国際的な研究マインド」を育てる教育も特徴です。

若い力が、新しい扉を開く

富山大学には、学生時代から積極的に研究へ参加し、科学的視点を養う文化があります。基礎研究は険しい道ですが、世界を舞台に挑戦できる大きなやりがいがあります。私たちは、これからの「医学の新しい扉」を開くことができる、皆さんの力を求めています。

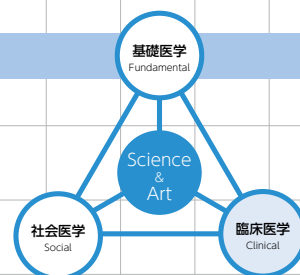
〔微生物学講座 教授 森永 芳智〕



積極的に研究活動に参画する医学生



外国人教員から指導を受ける学生



臨床医学の立場から

医学部における臨床実習

本学では、2年次までに基礎医学の確かな知識を習得し、3年次から臨床医学講義を通して臨床の思考力を養います。4年次には全国共用試験を経て、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）へと進みます。学生は臨床実習生として医療チームの一員となり、実際の診療の現場で学びを深めていきます。

本学の臨床実習は「患者は常に私たちの師である」という理念の下、患者中心の医療を教育の核に据えています。単に疾患を学ぶのではなく、患者を「心身一体の存在」として理解し、その人らしさに寄り添う姿勢を育みます。さらに近年では、AI支援診療やデータ駆動型医療への理解も重視し、未来の医療に対応できる臨床能力の育成を進めています。臨床実習は知識や技術のみならず、倫理観、共感力、そして生涯学び続ける姿勢を培う場であり、医師としての原点を形成する重要なプロセスです。

卒後研修と専門医養成プログラム

医師免許取得後の初期臨床研修（2年間）では、附属病院および協力病院において、多様なニーズに応じた柔軟な研修プログラムを提供しています。本学の特徴は、総合力を重視したプログラムと専門志向に応じたプログラムを自由に組み合わせられる点です。卒後臨床研修センターが個々のキャリア形成を支援し、質の高い研修環境を整えています。

3年目以降の専門研修では各診療科に所属し、専門性を深めるとともに臨床研究やトランスレーショナルリサーチに積極的に取り組みます。

全領域にわたる専門医養成プログラムが整っており、臨床力と研究力を備えた医師の育成を目指しています。

また近年ではデータサイエンスや医療AI、遠隔医療といった新しい医療技術も取り入れ、次世代の医療をリードする人材の育成に力を入れています。

先端医療を学べる附属病院

富山大学附属病院は高度で質の高い医療を提供するとともに、教育・研究の中核、さらに地域医療の最後の砦として重要な役割を担っています。

診療科横断型のセンター機能を強化し、がん診療・循環器疾患・脳卒中・周産期医療・感染症・再生医療など多領域にわたる高度専門医療を展開しています。がん医療の分野では、ゲノム医療の進展により個別化医療が大きく発展しています。エキスパートパネルを通じて最適治療の選択を学び、多職種連携によるチーム医療の実践を通じて患者中心の医療を体得できます。

手術領域では、ロボット支援手術やナビゲーション技術の導入が進み、低侵襲かつ高精度な治療が可能となっています。さらに、ハイブリッド手術室や内視鏡治療、マイクロサージャリー、リハビリテーション医療といった多様な先端医療技術が日常の診療に組み込まれています。

本学附属病院は地域医療の拠点であるとともに、世界水準の医療を実践し発信する場でもあります。学生や研修医は、この環境で臨床力と探究心を磨き、未来の医療を切り拓く力を身につけます。

おわりに

臨床医学とは、単なる知識や技術の集積ではなく、「人を診る」学問です。本学では、確かな医学的根拠に基づく医療と人間性に根ざした医療の融合を目指しています。変化し続ける医療の中で常に学び、考え、患者とともに地域に根差した心ある医師を育成することが本学の使命です。

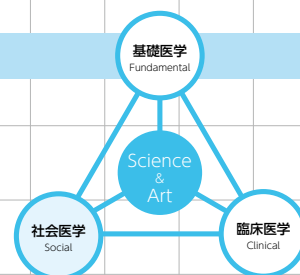
[整形外科学講座 教授 川口 善治]



ダ・ヴィンチの操作風景



ダ・ヴィンチ手術への参加



社会医学の立場から

～社会の健康～

日本はなぜ長寿国なのか？

日本は世界でも有数の長寿国として知られています。平均寿命は、国の豊かさと社会経済格差の小ささが両立しているほど長くなる傾向があります。日本はこの2つの条件を満たしており、それが長寿の大きな背景と考えられています。欧米諸国を見ても、平等主義的政策をとる北欧諸国は、自由主義的政策の米国や英国に比べて教育水準が高く、経済格差が小さく、平均寿命も長いことが分かっています。つまり、社会の仕組みや生活環境そのものが、人々の健康に強い影響を与えているのです。

こうした視点から、社会医学は医学だけでなく人文社会科学とも連携し、社会の仕組みや生活環境を改善することで、病気の予防と健康水準の向上を目指す学問です。「人々の健康」だけでなく、「社会の健康」を支えることが社会医学の使命といえます。

各世代の健康課題に向き合う

富山大学の社会医学系講座では、小児期から高齢期までのライフステージごとの健康課題に取り組んでいます。

小児期の研究としては、全国約10万人を対象とした「エコチル調査」に参画し、アトピー性疾患の環境要因を明らかにしました。また、睡眠不足が生活習慣病のリスクとなること、インターネット依存やゲーム障害の実態と原因など、現代的な課題にも取り組んでいます。

成人期の研究としては、糖尿病や高血圧、メタボリック症候群などの生活習慣病に対して、富山県内の地域ごとの健康状態を可視化した「健康マップ」を作成し、県内各市町村で活用いただいています。さらに、ロンドン大学やヘルシンキ大学との国際共同研究により、日本の労働時間やストレス、ワーク・ライフ・バランスの課題を明らかにしました。自殺の背景要因についても、様々なデータを用いて分析を進めています。

高齢期の研究としては、認知症の背景要因として、短い教育歴、職歴、糖尿病や心血管疾患の既往がリスクとなることを示しました。また、高齢者の歯の喪失に

ついても同様の要因が関係していることが分かり、生涯にわたる健康づくりの重要性を浮き彫りにしました。

これらの研究成果は、ホームページでの公開、メディアによる報道、地域での講演活動、行政施策への反映などを通じて社会に還元されています。

安全で安心な社会を支える

人は突然死や事故、自殺、犯罪など、予期せぬ形で命を落とすことがあります。こうした場合、法医学では遺体を解剖し、科学的で公正な判断に基づいて死因を究明します。これは、基本的人権の擁護や社会の安全、治安の維持に欠かせない役割です。

富山大学では、肉眼や顕微鏡では分からない突然死の原因を遺伝子レベルで調べるなど、最先端の手法を用いた研究を進めています。解剖結果は死因究明にとどまらず、遺族への説明や社会への情報提供を通じて広く還元されています。

大医は国を癒す

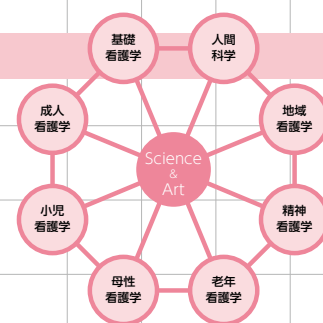
中国の古い医書には「小医は病を癒し、中医は人を癒し、大医は国を癒す」とあります。社会医学はまさに「国を癒す」学問であり、「社会の健康」を支える学問です。

社会医学系講座は、「人々の健康」を診るだけでなく、「社会の健康」を診ることができる医師の育成に取り組んでいます。

[疫学・健康政策学講座 教授 関根道和]



日本・英国・フィンランド国際共同研究



看護学の立場から

人を全人的にとらえる看護職を 育むカリキュラム

対象理解

保健師、助産師、看護師は人を尊重し、人々の発達課題と生活の場を考慮して、からだ・こころ・くらしのありようを統合体としてとらえ、理解していく能力が求められます。専門的な用語ではこれを「対象理解」と表し、あたかも相手の目線で物事を捉えられるようになること、相手の立場に立って気持ちを想像し、対象の看護ニーズをとらえることが重要になります。



看護診断・計画

潜在的・顕在的ケアニーズをもとに、看護職が提示できるものに「看護診断・計画」があります。基礎看護学では看護診断の概要を修得しますが、対象者の暮らす場によって、または疾患によって看護診断の優先順位は異なってきます。そのため、専門科目である基礎看護学から始まって、母性看護学、小児看護学、成人看護学、精神看護学、老年看護学、地域看護学、在宅看護学と学修し、領域別に重要となる看護診断・計画を展開します。考案した介入が有効なものか否かは、対象者の反応で評価します。まさに患者中心の看護の評価をすることが出来ます。

看護職は、全国的に求人倍率が2倍以上と社会から期待されている職種です。富山大学での学びをいかして羽ばたいてほしいです。

[母性看護学講座 教授 長谷川ともみ]

援助ニーズのアセスメント

対象の真のニーズは目に見えるものも、からだやこころの中であって目に見えないものもあり、疾患や認知のゆがみは表面に表れないこともあります。このように検査データとして表れないようなニーズを専門的には「潜在的ニーズ」と呼び、逆に目に見えるもの、つまり検査データに表れるものや言語化されたものを「顕在的ニーズ」と言います。潜在的・顕在的なニーズを看護実践に取り上げていくためには、ヒトの身体構造、疾病の機序、こころの仕組み、発達課題、人にとっての役割を学ぶことが重要です。

富山から世界へ 医療人材の育成と 安心できるチーム医療の提供



富山大学附属病院 病院長

山本 善裕

1) 富山の医療を支える最後の砦として

未来輝く高校生の皆さん こんにちは。

当院は主に重症の患者さんに高度先進医療を提供する、県に唯一の特定機能病院です。患者さんの命を救う革新的な治療法の研究や医療人育成に取り組む医学部を中心に、薬学部、工学部などの他分野学部とも連携しながら患者さんに新しい医療、より良い医療を提供するため日夜努力しています。

2020年に突如、新型コロナウイルス感染症がおり、富山県においても新興感染症の対応に苦慮しました。その中で当院は、第2種感染症指定医療機関となり、その後、感染症病床を増床して、重症患者を診る病院として機能し、貢献しました。そして、2026年1月には第1種感染症指定医療機関としても認可されました。

さらに当院には、他病院では実施できない高度な救急医療等を提供しており、地域の病院等と緊密に連携し、富山の医療を支える最後の砦としての役割を担っています。そのため、医師をはじめ多職種の優秀なスタッフが協力して患者さんの治療に取り組むとともに最新の医療機器や設備を導入しています。

2) 未来を担う医師を育てる環境

医学部4年次になると全国共用試験のCBTと臨床実習前OSCEに合格して臨床実習生（医学）として臨床実習を開始します。これは単なる見学ではなく、診療に参加し、指導医のもと医行為も可能となりました。そして、これらの試験に合格することが医師国家試験の受験資格になっています。医学科を卒業後は初期臨床研修医になりますが、ぜひ、優れた研修プログラムを用意している富山大学附属病院の初期臨床研修医になってもらいたいと思います。卒後臨床研修センターでは、初期臨



充実した研修を行えるようサポートしています

富山大学附属病院の 特徴

- 特定機能病院
- がんゲノム医療連携病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院（基幹）
- 難病診療連携拠点病院
- アレルギー疾患医療拠点病院
- がん診療人材育成拠点病院
- エイズ拠点病院
- 第1種感染症指定医療機関
- 第2種感染症指定医療機関

未来を担う医師を育てる環境

- 富山から世界へ、地域へ
- 各自が思い描く医師になるためのキャリアパスのサポート体制
- 優れた初期臨床研修プログラムと
19基本領域すべての専攻医研修プログラム

地域に根ざした大学病院

- 県内唯一の医育機関であり、すべての専攻医養成が可能
- 高度先進医療とチーム医療の実践により、地域医療の最後の砦となる病院
- 富山県および近隣地域の医療を将来にわたって担う医療人材の育成

床研修医の皆さんの面倒をしっかりとみていますので、安心してください。特に研修医の一人一人にはメンターとして先輩医師が個別に配置され、あらゆる相談にのってくれます。初期研修が修了すると、各自が目指す専門医になるための専攻医研修が始まります。当院には専門医の19基本領域すべてが揃っています。富山大学では、自分の希望する専門医を選ぶことができ、皆さんのなりたい医師になることができるのです。

3) 地域医療を支える大学病院

医学部の富山大学地域枠、富山県特別枠で入学した学生諸君は、富山県の地域医療に貢献する意思をもち、その意思を実現できるよう医学部1年次から将来へむけての相談を始めます。附属病院は富山県の医療の最後の砦であるとともに富山県の地域医療に必要な医療人材の養成を担う機関です。

地域医療といっても富山大学附属病院から診療所まで幅広く勤務できる病院があります。今後、ますます富山県の人口は減少し、高齢化し、医師が不足していくことが予想されています。富山大学医学部に入学した皆さんが、富山県に残り、富山県の医療を将来にわたって担っていただきたいと強く念願しています。

附属病院で行っている高度先進医療の一部をご紹介します。循環器センターでは小児心臓外科手術を多数行っており、日本のトップ施設です。また、補助人工心臓



最先端の手術室で高度な医療を提供しています

を扱えるのは北陸で当院のみです。包括的脳卒中センターでは24時間体制ですべての脳卒中治療を担っています。膵臓・胆道センターには、全国から膵臓がんの治療と胆道内視鏡治療のため、多くの方が受診される日本のトップ施設です。ほかにも多くの診療科で高度先進医療を実施しています。臨床研究開発推進センターでは医師主導治験などを行い、医学の進歩に貢献しています。これらの高度先進医療は、医師だけでなく薬剤師、看護師、医療スタッフ全員で協力してこそ成しえるものであり、すべての医療人材の養成が必要です。

さらに、これからの富山県の医療では総合医や家庭医の需要も高まります。高度先進医療から総合診療まですべての医療人材を育成し、今後とも附属病院は地域医療を支える役割を果たしていきます。

新しい学修方法で感染症・地域医療・SDGsに対応する 次世代医療人育成

情報通信技術（ICT）、データサイエンス、人工知能（AI）を活用した医療人教育

医学部では、対面での同期型の学びと学習管理システム（Moodle）を用いた非同期の学びを併用し、学修に活用しています。また、シミュレータを用いた実習なども積極的に実施しています。医学・薬学・看護学合同でオンライン演習を実施し、多職種協働を学びます。

現代の医療を理解し医学を発展させるためには、データサイエンスの基本的な能力を学修し、使いこなすことが求められています。医学部では、医療や保健に関わる医療統計など、ビッグデータを含めた分析により、医療における課題の検討などの学修を進めています。



シミュレーションセンター「T-ALPS」

「感染症医療人材の養成」と 「地域医療人材の養成」

富山大学は、「感染症医療人材養成事業」により感染制御の即戦力として活躍できる人材の育成に感染症教育を通じて取り組んできました。また、「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」で

は、最先端の機器に触れコロナで大きく変化した検査を学修するなど、感染対策や検査を学ぶ環境の充実が実現しました。

さらに、「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」では、呉東地区、糸魚川地区、上越地区を中心とし地域医療を担う人材を新潟大学と協力して積極的に養成しています。富山大学と新潟大学の学生が集まるサマースクールでは、実際にまちを探索するフィールドワークを行います。フィールドワークを通じて、地域住民や地域の医療・介護・行政の皆さんとの議論・インタビューなどを通じて、地域の現状や課題を多面的な視点から俯瞰できるように学ぶトレーニングを行います。医学部で学ぶ専門的知識が、地域社会のニーズに対応して活用できるために何が必要か自ら考える機会となっています。



低学年から取り組む新型コロナ検査実習

SDGs は世界的な動き

富山大学では、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。全学部の教員が協力して、SDGs関連科目を開講しています。また様々な社会活動にも取り組んでおり、学生は講義・実習を通してSDGsを学修します。

「富山大学地域枠」「富山県特別枠」について

富山大学の地域枠

全国で医師不足や医師の偏在が生じており、多くの大学では、将来、特定の地域の医師として働くことを約束して入学する、いわゆる「地域枠」が設けられています。

富山県においても医師不足及び医師偏在が認められており、これを受けて富山大学では、卒業後、富山県内で地域医療に従事することを前提にした「富山大学地域枠」と「富山県特別枠」を設置しています。

これらの枠で入学した者は卒業後、定められた期間を富山県内で研修もしくは勤務することになります。

「富山大学地域枠」「富山県特別枠」のキャリアパス

〈入学後〉

「富山大学地域枠」「富山県特別枠」で入学した学生には、定期的に個別面談を行うことで手厚くサポートしています。また、地域医療に関するセミナーやワークショップが定期的に開催されているほか、実習の機会も設けられています。

〈卒業後〉

卒業後のキャリアイメージは以下のとおりです。

「富山大学地域枠」

富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラム期間					
卒業後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
研修	臨床研修		専門研修（3～5年で専門医取得）		

「富山県特別枠」

臨床研修		専門研修および公的病院等での臨床研修								
卒業後年数	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
研修・勤務	① 初期臨床研修病院		③ 公的病院等での勤務 4年間 医師多数区域（富山市）以外の指定された医療機関等							
			3年間 専門研修 （診療科によっては4年間）		公的病院等					

② 診療科の選択※

基幹施設・連携施設（公的病院等）をローテート

※診療科は、臨床研修を行った後、地域医療において必要な複数の特定診療科（小児科、外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科、脳神経外科、感染症内科）の中から選択。

「富山大学地域枠」「富山県特別枠」の概要

	学校推薦型選抜 「富山大学地域枠」		総合型選抜 「富山大学地域枠」	総合型選抜 「富山県特別枠」
	富山県出身者 対象	隣接県出身者 対象		
出身	富山県	石川県、 岐阜県、 新潟県又は 長野県	富山県	富山県
対象	現役生		現役生含む 卒業後2年以内	現役生含む 卒業後2年以内
卒業後	富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラムで、2年間の初期研修を含む5年間の臨床研修に従事		富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラムで、2年間の初期研修を含む5年間の臨床研修に従事	県内医療機関における臨床研修2年、特定診療科9年の臨床に従事 ※特定診療科…多くの診療科の中でも特に富山県の事情に合わせて充足させるべきとされる定められた診療科
修学資金	修学資金 貸与制度なし		修学資金 貸与制度なし	富山県修学資金の貸与を受けなければならない （卒業後、上記期間を県内医療機関で勤務することで返還免除）

「富山大学地域枠」「富山県特別枠」の出願に際してご理解頂きたいこと

「富山大学地域枠」「富山県特別枠」の卒業生が、入学時の約束とおりに地域医療に従事することは、富山県の医療にとって非常に重要なことです。したがって、もし卒業後に富山県内で医療に従事することに迷いがある方は、一般選抜で受験してください。

学生生活を含めると10年以上先の約束を伴う入試枠であり、これほど先のことを想像することは簡単ではないかと思います。受験者本人だけでなく、ご家族の方にもこの入学枠設置の背景と社会的責任を十分にご理解いただいた上でお願いしたいと思っています。

富山大学は「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人を求めています。その、富山愛を存分に発揮してくれる人、卒業後に富山県を支えてくれる人、そしてそのような精神を後進にもつなげたいという人をお待ちしています。

なお、受験年度によって制度が変更になる場合がありますので、詳細は必ず最新の学生募集要項で確認してください。

キャリアパスとしての大学院進学（医学）

大学院（生命・臨床医学プログラム）

大学卒業後のキャリアパスの一つとして大学院進学があります。富山大学大学院総合医薬学研究科 総合医薬学専攻 生命・臨床医学プログラムは4年制であり、所定の単位を修得し、学位論文を提出することで、博士（医学）の学位が授与されます。

総合医薬学研究科では、医学、薬学及び看護学を統合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を身に付けることができます。そして、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人または教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

大学院総合医薬学研究科 生命・臨床医学プログラムでは基礎医学、社会医学、臨床医学など現代における医学の幅広い分野をカバーしています。特に、脳科学領域や感染症・免疫学、未病・老化研究領域では非常にレベルの高い最先端の研究が行われており、世界中から注目される研究成果を数多く発表しています。

近年、研究のボーダレス化が加速し、分野を越えて、国境を超えて研究を行う必要性が高まっています。本学では講座間での共同研究や国内・国際共同研究が盛んに行なわれ、世界に向けて多くの研究成果を発表してお

り、その中心に大学院生が関わっています。また、海外からの留学生も数多く在籍しており、非常に国際色豊かな研究環境にあります。

大学院へ進学するタイミングは学部卒業後、初期研修終了後、後期研修終了後など多様です。本学では後期研修プログラムの中に大学院進学を組み込んだものもあり、効率よく大学院で学ぶことができます。さらに、本学附属病院や関連病院に勤めたままでも、社会人大学院生として、仕事と研究を両立させながら、大学院で研究ができる制度もあります。また、本学の学部で所定のプログラム（研究医養成プログラム）を修了していれば3年間で学位を修得することも可能であり、このメリットを活かして早期に学位を取得している先輩も数多くいます。是非、大学院進学も見据えて、富山大学医学部で学んで頂ければと思います。

修了後の進路

教員・研究者（大学、研究所等）

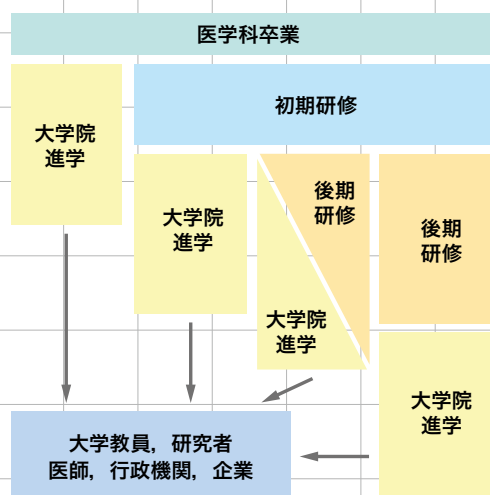
医師（病院、行政機関）

企業（創薬開発、治験関連）

大学院を修了して得られる博士（医学）の学位は、キャリアパスの可能性を広げます。大学院の卒業生は大学教員、研究者、病院における医師として活躍しています。また、製薬企業、医療関連機器の企業、ヘルスケア企業などに就職する卒業生もいます。厚生労働省、県などの行政機関、保健所などの公的機関に進む道もあります。さらに研究を続けるため米国や欧州の大学・研究所に海外留学をする卒業生も多くいます。富山大学医学部医学科卒業生も、多くの方が大学院に進学し、富山だけでなく日本中、世界中で活躍しています。



大学院進学のタイミング



キャリアパスとしての大学院進学（看護学）

～看護学の修士・博士の学位を取得して、実践を変革させる研究能力を獲得する～

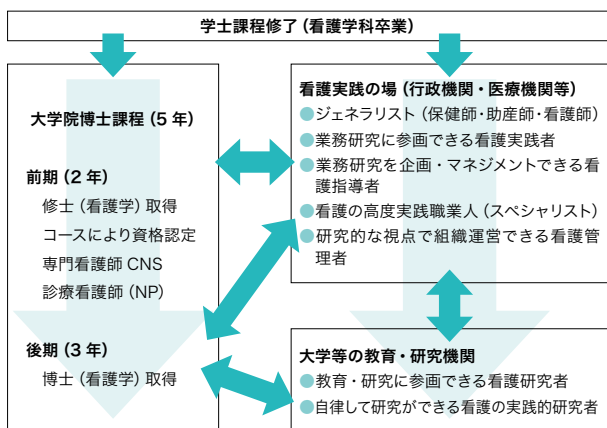
学士課程修了（大学卒業）後は、大学院進学で看護学を追究できます。総合医薬学専攻看護科学プログラムは、5年間の一貫した博士課程です。所定の単位を修得し、学位論文を提出することで、修士（看護学）、博士（看護学）の学位が授与されます。本課程は、前期と後期に分かれており、博士前期課程で修士（看護学）取得後、一旦修了することもできます。その場合は、改めて博士後期課程に入学することになります。

看護専門職（保健師、助産師、看護師）として、人々の健康の保持増進、健康の回復、あるいは安らかな死のために、どう援助したらよいか・良かったか判断に迷うことが多々あります。人々の多様な価値観・人生観を尊重していく中で、正解の無い仕事にあたります。

このような中、私たちの実践の質を支えるものは、①学問体系に裏付けられた知識と技術、倫理観、②それらを学び、納得できるまで修得してきたという「自信」、③研究的視点で課題を見つけ、研究的アプローチで解決にあたる成功体験を積み上げることです。看護専門職は、自律した創造力をもってチャレンジし続けるために、生涯学び続ける必要があるのです。

ここに大学院で学ぶことの意義があります。本学大学院では、これらを実現させ得るカリキュラムと研究指導体制を整えています。大学院修了後は、看護学の研究者・教育者としてはもちろん、高度実践専門職業人として、また実践の場における指導者・相談者・研究者として活躍することができます。

大学院（看護科学プログラム）で生涯学び続ける看護実践者・教育者・研究者



また本学大学院には長期履修制度もあります。この制度により、職業を持ちながら学び続けられます。長期履修を申請できる要件に該当すれば、標準修業年限の2倍まで延長することができ、博士前期課程では2年のところ4年まで、博士後期課程では3年のところ6年までの修業が認められます。

博士前期課程

博士前期課程看護科学プログラムの目的は、「現代社会の多様な要請に応えるために、看護学専門領域における研究や学際的知見の成果を総合的に活用して、保健・医療・福祉の分野で活躍できる高度医療専門職業人又は教育研究者を育成する」です。2年の修業年限以上在学し、所定の授業科目の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け、論文の審査及び最終試験に合格することで、課程修了し修士（看護学）の学位が取得できます。

コースは4つあります。① 研究者コース、② がん看護専門看護師（CNS）コース、③ 母性看護専門看護師（CNS）コース、④ 診療看護師（NP）コースです。②～④は高度実践専門職業人（スペシャリスト）の教育課程です。

博士後期課程

博士後期課程看護科学プログラムの目的は、「豊かで幅広い学識と高度な問題解決能力を有する人材育成を目指し、看護の教育・研究基盤を確立するため、知の統合・創生と実践を改革・開発・創造でき、国内外の生活文化に貢献しうる実践的研究者を育成する」です。

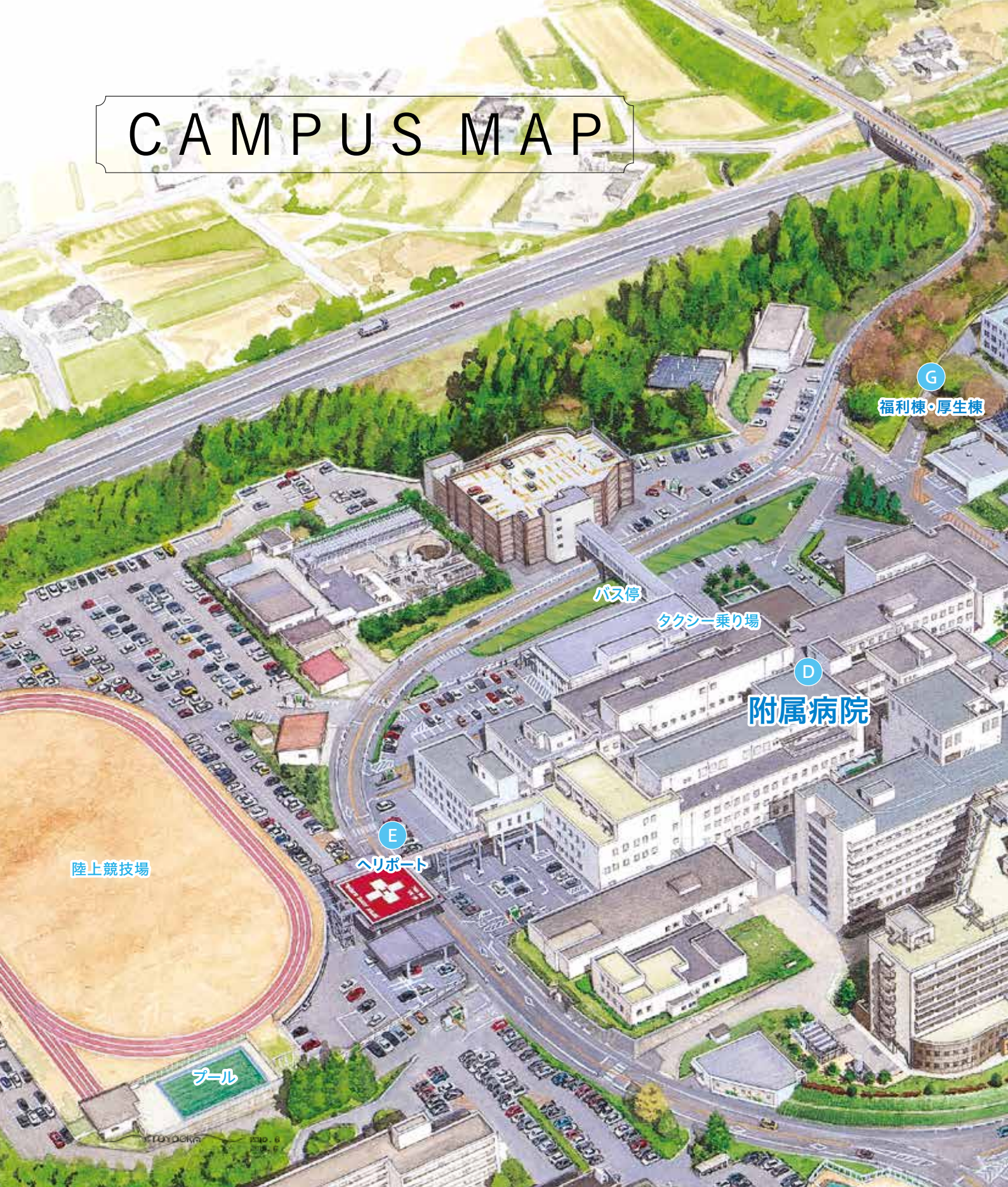
3年の修業年限以上在学し、所定の授業科目の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け、論文の審査及び最終試験に合格することで、課程修了し博士（看護学）の学位が取得できます。

国際学会での発表・ディスカッション

大学院での研究成果は、国内外の学術集会で発表します。特に海外に向けて発信することで、世界の多種多様な研究に触れ、各国の研究者と交流しながら研究活動を広げられ、研究者として世界の中の立ち位置を築くことができます。



CAMPUS MAP



A

医学部研究棟

最先端の医学研究を実施

基礎医学、臨床医学、社会医学など様々な分野の講座が研究活動を行っています。研究室配属の前に一度、どんな専門分野の講座があるか見ておくとも良いかもしれません。

B

看護学科研究棟

シミュレーションセンターも設置

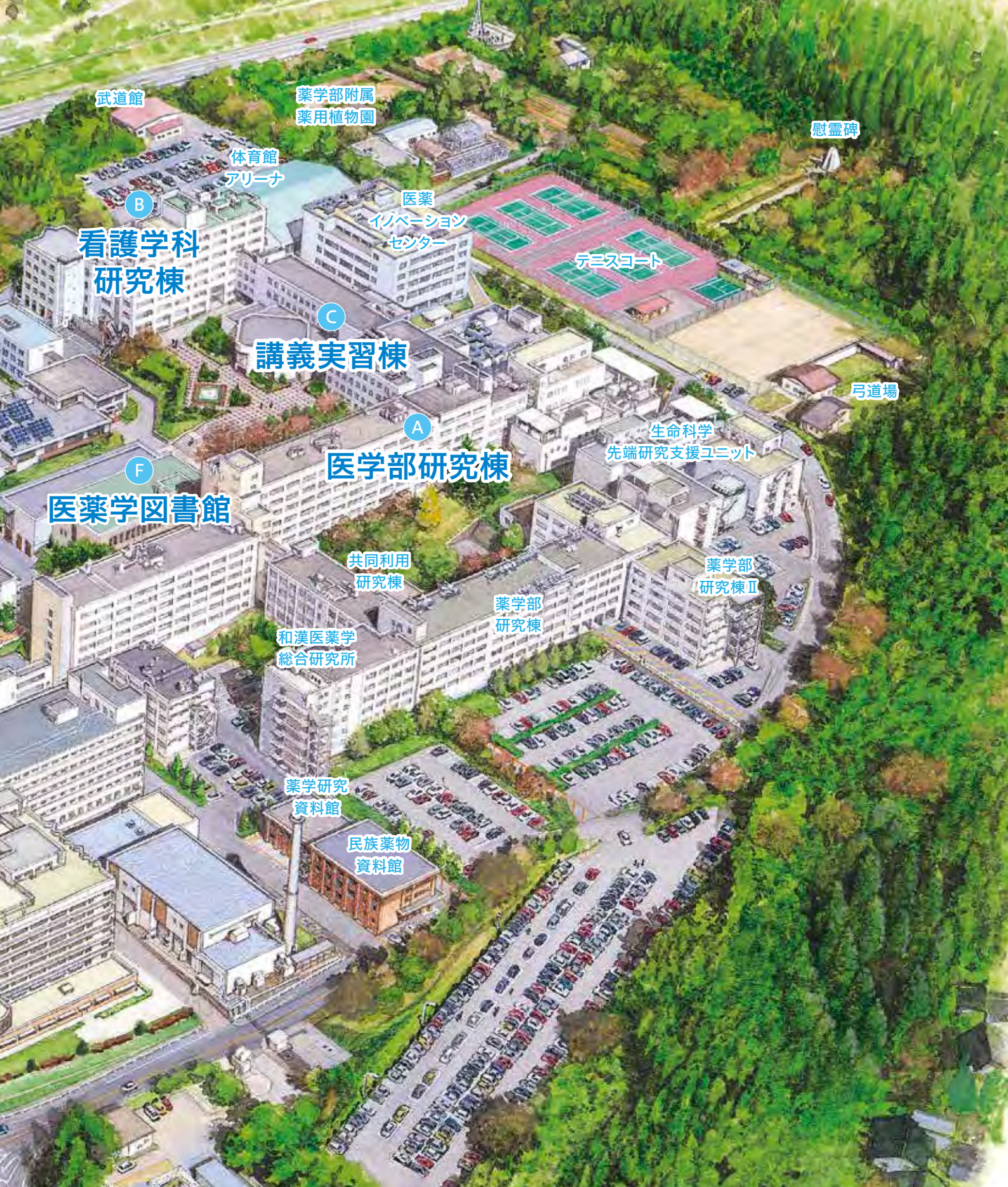
看護学科の様々な分野の講座が研究活動を行っています。また、看護学科の講義室や実習室として使用されています。シミュレーションセンター「T-ALPS」には多様なシミュレーターがあります。

C

講義実習棟

医学・薬学の基礎を学ぶ

医学部と薬学部の学生は、主に講義実習棟で講義・実習を受けます。また、情報処理室もあり、ICTを活用した学修が行なわれています。



D 附属病院

最先端の医療を提供

富山県の医療の最後の砦となるべく、たくさんの教職員が日夜、最先端の医療を提供しています。臨床実習や臨地実習は、附属病院を中心に行われます。

E ヘリポート

富山県下どこからでも

富山県下の様々な場所から重症患者がヘリコプターで附属病院に搬送されます。救急診療が円滑にできるようになっています。

F 医薬学図書館

24時間利用可能

医薬学図書館は、主に医学・看護学・薬学分野の学術情報を提供する図書館です。電子ジャーナル、データベース、雑誌、図書などが整備されています。本学の学生や教職員に加えて、地域の方々も利用可能です。

G 福利棟・厚生棟

食堂・書店・部室

食堂では、安価で食事をとれます。また、飲食物を購入できる売店や、勉学に必要な書籍や物品などを購入できる書店があります。部活動の部室があり、課外活動の拠点となっています。

入学料と授業料は？

入学料は282,000円、授業料は年額535,800円です。

本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校として文部科学省から認定されており、経済状況等の一定の要件を満たす方は、入学料および授業料の減額・免除、給付型奨学金を受けられます。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。



授業料以外の費用は？

講義や実習においては、資料作成や課題提出のためにノートパソコンおよびソフトウェア（Word、Excel、PowerPoint等）が必要です。教科書や参考書の費用は履修科目によって異なります。実習においては、白衣や聴診器、ペンライト等の購入費用が必要となりますが、それぞれ価格帯は幅広く、選択する製品によって差があります。

また、学生保険や各種試験に関する費用も必要です。本学では、全学生が学生教育研究災害傷害保険（学研災）および学研災付帯賠償責任保険に加入します。保険料は、医学科7,800円（6年間）、看護学科5,370円（4年間）です。共用試験および国家試験の受験料は以下のとおりです。

- ・臨床実習前共用試験：33,000円（医学科4年次）
- ・臨床実習後共用試験：20,000円（医学科6年次）
- ・医師国家試験：15,300円
- ・看護師・保健師・助産師国家試験：各5,400円

なお、医学部同窓会および医学部後援会の会費については以下のとおりです。

- ・医学部同窓会：30,000円（10年間）
- ・医学部後援会：医学科75,000円（6年間）、看護学科50,000円（4年間）

後援会は保護者が加入する団体であり、部活動などの課外活動、国家試験模擬試験、ワクチン接種、謝恩会、卒業アルバムの作成等、学生の各種活動を支援しています。

奨学金制度はありますか？

本学では、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体等による各種奨学金制度を取り扱っています。

また、卒業後に富山県内で医療に従事する意志のある学生を対象とした奨学金制度として、「富山県地域医療再生修学資金」（医学科対象）および「富山県看護学生修学資金」（看護学科対象）があり、所定の条件を満たした場合は返還が免除されます。

さらに、海外留学に際しては、富山大学基金や杉谷キャンパス国際交流基金による経済的支援を受けることができます。

自習できる環境は整っていますか？

杉谷キャンパスの医薬学図書館は24時間利用可能です。館内には300席以上の個人学習スペースのほか、グループワークが可能なグループ学習室『ダイトInspiration Room』、オンラインの授業やプレゼンテーションの練習などに使用できるワークキャビンなどがあり、集中して学習に取り組める環境が整っています。また、自宅から利用可能なオンライン図書も年々増加しています。



自宅外学生の多くは、五福キャンパスまたは杉谷キャンパス周辺に居住しており、その割合はほぼ半々です。1年次では多くの授業が五福キャンパスで行われ、2年次以降の授業は主に杉谷キャンパスで行われます。

また、大学の学生寮（新樹寮）が、五福キャンパスから約2km、杉谷キャンパスから約4km離れた閑静な場所にあります。入寮には選考があり、経済状況等が考慮されます。詳しくは入寮パンフレットをご覧ください。



五福キャンパスと杉谷キャンパスの間は約6km、バスで約20分です。

講義や実習に必要な物品（教科書、参考書、文房具、白衣、聴診器等）は、杉谷キャンパス内にある書店で購入できます。杉谷キャンパス生協食堂は、昼食時だけでなく夕方も営業しており、授業後にも利用可能です。食堂2階の購買では、お弁当やおにぎり、パンなどの食品のほか、日用品も販売しています。さらに附属病院内には、コンビニエンスストア、ベーカリー＆カフェ、簡易郵便局があります。



医師を目指す皆さんへ



富山大学附属病院
地域医療総合支援学講座
客員助教

竹村 京子

(2009年 卒業)

こんにちは。私は富山県立高岡高校を卒業し、2003年に富山医科薬科大学（現富山大学）医学部医学科に入学しました。子供たちが元気に育つサポートをしたいと思い、医師を目指しました。いわゆる勉強は苦手でしたが、良き友人、先輩に恵まれ無事卒業することができました。試験前に友達とチュートリアル室にお菓子を持ち込み、籠って勉強したことは、振り返れば楽しい思い出として残っています。

卒業後は、信頼する先輩が勤務する病院で2年間の臨床研修を行いました。そこでも、支えてくれる仲間と出会い、多くの学びを得ました。医学部入学当初は小児科医を目指していたものの、様々な診療科で臨床実習や臨床研修を重ねるうちに、自分の手でその場で病巣を取り除くことのできる手術の魅力に取りつかれました。現在は産婦人科医となり、婦人科腫瘍を専攻しています。手術の技術を高め、薬物療法や放射線治療の知識を蓄え、少しでも患者さんが元気に過ごせる日が長くなるよう診療を行っています。小児科医になりたいと思ったときに、患者さんに寄り添いサポートしたいと考えていましたが、それは産婦人科医であっても変わらず念頭に置いています。医師になってからも多くの困難や不安に直面することがありますが、出会った仲間の存在が大きな支えとなっています。

これまで臨床一筋でスキルアップしてきましたが、私の医師人生は転換期を迎えます。医師10年目で富山県の寄附講座である「地域医療総合支援学講座」に配属されました。富山県における医療提供体制の充足を目的とした講座であり、私はその中でも特に、将来富山県の医療を支える学生のキャリア形成支援を担当することになりました。当初は、学生の皆さんが将来地域で活躍できるように先輩医師の講演やハンズオンセミナーなどを行ってきたのか、皆にとってよいことをしているのか疑問が残りました。私自身も富山で育った医師であり、学生の皆さんには思い入れがあります。しかし、気持ちだけでは最適な支援に結びつくとは限りません。私は教育について学び研究する必要性に気づき、医師14年目半ばで大学院に入学し医学教育学を専攻することにしました。今から大学院!?と言われますが、「四十(六十)の手習い」と思い頑張っています。臨床では患者数や生存期間など数を扱う量的研究が大半を占めますが、大学院入学をきっかけに、インタビューなどの主観的データをもとに心理的傾向や文化など数字で表すことができないデータを分析する質的研究という方法に出会うことができました。学生の皆さんが自ら富山の医療を支えるために頑張りたいと思えるキャリア形成支援を行うために、ぜひ学ぶべき研究手法だと思っています。

現在は地域医療や後進の育成に努めながら、産婦人科医としても患者さんをサポートしています。私自身のキャリア形成もまだまだこれからです。

ぜひ、富山大学で素晴らしい仲間に出会い、たくさんの経験を積み重ねてください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

大学生活、そしてその後のキャリア



富山大学附属病院
耳鼻咽喉科頭頸部外科 医員
富山大学大学院
総合医薬学研究科
博士課程在学中

大井 祐太郎

(2016年 卒業)

こんにちは。私は富山県出身で富山県立魚津高校卒業後、2010年に富山大学へ入学しました。入学当初は初めての一人暮らしや交通の便の不安もありましたが、先輩や同学年に車で送迎してもらい、その後自動車免許をしたことで特に不自由なく生活ができました。入学後は学業ばかりではなく、部活に明け暮れたり、学祭に一生懸命になったり、時にはホテルイカを取りに深夜に海に行ったりと富山ならではの大学生活の楽しみ方がありました。また志を同じくした方が多いので気づけば友人や部活仲間等との交流が増え、今現在でも交流しやすい（病院で相談しやすい）環境となっています。

卒業後はそのまま富山県内の病院で研修を行い、様々な診療科を経験した上で、手術治療を行うことができ、老若男女問わず最初から最後まで自分たち診療科の疾患を診療できる可能性の高い耳鼻咽喉科頭頸部外科医となりました。これまでは手術、化学療法、放射線療法など臨床診療、癌治療に必要な知識、技術を身に付け、少しでも患者さんによりよい治療を提供するよう努めてきました。

2023年秋に大学院に行ってみないかと声をかけていただき、主に基礎研究を行う研究室で大学院生として研究活動を開始しています。研究テーマとしては我々診療科とも関係が深い癌細胞にかかわる研究を行うこととなりました。まだ研究生活が始まって間もないですが、臨床のみでは経験することのなかった視点で物事を考えること、また目的を達成するためにアセスメントを行った上、思うような結果が得られなかった場合にしっかりとフィードバックし次に活かすためのマネジメントを行うことの大切さを学ぶことができており、今後の医師人生でも必要となる考え方、視野の広がりを得ることができることをすでに確信しています。

富山での大学生活や大学院への進学についてわからないことは多いと思いますが、周囲には必ず相談に乗ってくれる上司、仲間ができると思います。まずはその下地となる学生生活を十分に楽しみ、大学院への進学を考えている方は今後のキャリア形成、医師人生、診療への深みにつながることは間違いないと思いますのでぜひ検討ください。今後皆様と一緒に働くことを楽しみにしています。

富山大学での6年間で得られる学びと成長



南砺市民病院
内科（とやま総合診療専攻
研修プログラム所属）

石川 侑
(2023年 卒業)

こんにちは。私は愛知県の高校を卒業後、2017年に富山大学へ入学し、現在は県内の病院で総合診療科専攻医として勤務しています。自然豊かで温かい人が多い富山をとて気に入りっています。

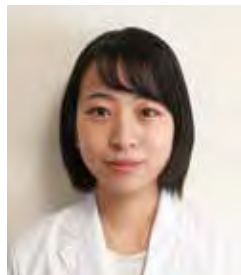
皆さんは医学科にはどんなイメージがありますか。実習を通じてさまざまな疾患について学ぶことに積極的な人もいれば、勉強や試験を不安に思う人もいるかもしれません。私の経験から富山大学医学科の雰囲気をお伝えできれば幸いです。

まず、大学1年次の五福キャンパスで基礎教育を受け、他学部との交流の機会も多く、学際的な学びができるのが特徴です。医療現場では医師だけでなく、多職種の方々と関わり、連携することが重要ですが、医学科に進学すると、似た志を持つ同級生との関わりが中心になりがちです。こうした他学部との交流は、医療現場での協働に繋がる経験になると思います。2年次から本格的に医学の勉強が始まり、解剖実習や試験など多忙な時もあります。私自身は決して優秀な学生ではなかったですが、24時間開館の図書館や学友との助け合いのおかげで乗り越えました。4年次からいよいよ臨床実習が始まります。大学病院だけでなく地域病院で長期間の実習もでき、地域医療を身近に感じる貴重な機会となります。

また、杉谷キャンパスでは課外活動も盛んです。運動系・文化系問わず多くの部活があり、複数の部活に所属している学生も多くいます。医療系サークルもあり、地域や他大学の医学生と交流を深める活動が行われています。私は大学祭の実行委員を務め、多くの人と関わり、連携や協働の大切さを実感しました。これは今の医師として働く上でも生かされているかと思っています。

こうした富山大学医学科での6年間では、ただ医学知識を学ぶだけでなく、多様な人との関わりを通じて、将来目指す医師像を作り上げることができるかと思っています。ぜひこの富山で皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

富山大学で広がる医師への道



医学部医学科 6年

宮澤 正咲
(静岡県静岡サレジオ高等学校 卒業)

医学科に入ると勉強ばかりだと思っていませんか？

大学生は授業が全てじゃない、想像以上に選択肢と伸びしろにあふれています。

学生だからこそできることをやりきろう！私は地域での活動に力を入れてきました。医療系部活動が充実していて、救急医学勉強会SALTや小児科訪問サークル青い鳥、気になる活動全てに挑戦できました。

特に、国際医療研究会KIKにて、富山伝統の漢方をテーマに薬膳メニューを考案・提供するカフェを続けてきました。「そういえば最近…」と病院に行くほどではない健康相談を地域の方にされたときは、生活と医療の間に立つ実感が持てて嬉しかったです。学外へ出て体感した地域住民の生活やコミュニティは、医師として患者の日常や背景を理解するために重要な視点だと実習に出て痛感しました。研究医養成プログラムを利用し、学術的探求と学会発表にもつながりました。大学コンソーシアム富山の研究助成に3年連続採択され、社会医学の研究観点も楽しく実践できています。

また、言語と宗教の違いから医療機関にかかりにくい方がいるという富山の課題を知ってガイドブックを作成した際には、病院の外からの視点で医療を捉えたことで、なりたい医師像を見つけました。他学部・他学年と活動し刺激を受けることも楽しさの一つです。

これらの活動は、支えとなる医学の知識があるからこそできるものでもあります。1年生では一般教養、2年生では基礎医学、3・4年生では臨床医学を学びます。富山大学ならではの講義や現場を想定した話が多く、学年が上がるたび医学への関心が高まりました。

4年生12月から臨床実習が始まり、患者さんを目前にするからこそ学ぶ楽しさも増えました。特に富山大学独自の多職種連携実習では、院内の他の職種の視点に立つことで、医師として求められる動き方を意識でき、その後の実習での着目点と気づきが格段に広がりました。SIM実習というシミュレーション機器を用いて手技や知識を定着させる時間もあり、手を動かして現場をよりイメージできるようになりました。

学内で学んだ知識が課外活動で役立つと知識の定着が増す、地域に出るからこそ医学の疑問と興味が増していく。楽しい循環の中で過ごすことができ、6年生までを振り返ってみても、どれもが輝いて、糧になることばかりです。富山大学生だからこそ得られる経験の楽しさが伝わって、医師を目指す皆さんの参考になれば嬉しく思います。

入学式



医学薬学祭



卒業式



C a m p u s S c e n e

自分の選択肢を広げる学び



富山大学大学院
総合医薬学研究科
博士前期課程 2 年

菊池 紀子
(2009 年 卒業)

私は富山大学看護学科を卒業し、現在は富山大学附属病院で看護師として働いています。現在は働きながら、日本ではまだ少ない診療看護師（ナース・プラクティショナー：NP）という、医師と協働して診療の一部も担う看護師の資格取得を目指し、大学院生活を送っています。NPコースでは看護だけでなく、医師などによる講義や実習指導もあり、医学的な知識・技術を学ぶことができます。多職種で「患者さんの困りごととは何か」「これはなぜ起きているのか」「どのような療法や社会資源があり、患者さんに合うプランは何か」といった課題を解決していくために、日々勉強しています。

富山大学では資格取得のための授業だけでなく、医療系以外の学部や医学・薬学の学生との合同授業、国際交流など、多様な価値観を知る機会が数多くあります。また、実習では大学附属病院をはじめとする関連施設で、さまざまな働き方をしている看護職に出会えるため、進路を考える上で参考になると思います。大学院の授業は、私のように働きながらでも通学できるようにカリキュラムが組まれており、20代から50代まで、大学院生の年齢層も多様です。

富山大学での学生生活を通して、迷いながらも課題に取り組む、チャレンジすることは、今後の人生にとって大切な経験になると思います。私自身、大学院に進学したことで、さまざまな経験や、病院で働いているだけでは得られなかった多様な考えに触れ、自分の選択肢が広がっていると感じています。

皆さんも富山大学で学んでみませんか。チャレンジを応援しています！

大学での経験



神戸百年記念病院
看護師

高橋 朱里
(2020 年 卒業)

私は、富山大学附属病院にて4年間勤務したのち、結婚・引っ越しを期に兵庫県にある神戸百年記念病院で手術室看護師として勤務しています。

私は、高校生の頃に看護師や保健師の資格を持ちたいと思い、地元である富山大学に進学することを決めました。看護学科の学生はとても優しく人に恵まれ、日々の授業や大変な実習を乗り越えられたと思います。4年次の実習では各領域を周り、各々の専門的な医療・看護について学ぶことができました。担当してくださる先生方は熱心に指導して下さり、また親身になって相談に乗って下さり、実習を乗り越えられました。

4年次に手術室での実習がありました。なんとなく手術に興味があったのですが、実習で手術室看護師に魅力を感じ、手術室看護師になりたいと思いました。看護学校によっては手術室の実習がないところもあるようで、良い経験となりました。

富山大学附属病院に就職し、希望であった手術室に配属されました。最初の頃は、仕事を覚えることに必死で大変でしたが、勉強に明け暮れながらも実習で培った忍耐力、同期の支えにより4年間を乗り切ることができました。結婚・引っ越しにて退職することとなりましたが、新天地でも手術室看護師を続けたいと思い、現在の病院でも手術室看護師として働いています。

富山大学で過ごした4年間はかけがえのないものであり、多くの学びを得ることができました。ぜひ、富山大学で充実した大学生活を送ってください。

オープンキャンパス



C a m p u s S c e n e



母性看護学実習

地元富山で活躍するために



富山市中央保健福祉センター
成人保健・福祉相談係 保健師

蔵 真咲
(2024年卒業)

私は、医療系の仕事に就き、多くの人を助けたいという漠然とした夢がきっかけで富山大学看護学科に入学しました。私が入学したのは2020年で、新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、国民に様々な影響を与えた年でした。そのため対面での授業もままならず、しばらくはZOOMでの授業が続いていましたが、少しずつ対面での学習が増え、臨床実習も様々な制約の中ですが、将来看護師や保健師の仕事に就いた時に役立つ知識や技術などをしっかり身に付けることができました。

3年次から地域看護学の学習も加わりますが、学習をしていく中で市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしたり健康に関する意識を高めたりすることに従事できる保健師として、地元富山を支援していきたいという思いがどんどん強くなっていきました。現在は富山市の保健師として、母子や成人など様々な分野での個別支援や地域の特性に合わせたポピュレーションアプローチなどに取り組んでいます。保健師は幅広い知識や専門職間での連携がとても重要となります。まだ未熟ではありますが、今後もより専門性に優れた支援を提供し、市民の皆様が常に健康に関心を持ってもらえるよう工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。

富山大学では自身の学びたいことに全力でサポートしてくださる先生方や、共に助け合える仲間がたくさんいます。ぜひ皆さんも富山大学で、充実した実りのあるキャンパスライフを送って下さい！



学内演習

行動することで見える世界



医学部 看護学科3年

根岸 知世

(東京都立女子中学高等学校 卒業)

私が富山大学を志望した理由は、看護師・保健師・養護教諭二種、助産師など複数の資格取得が可能であり、将来の選択肢を広く持てる点に魅力を感じたためです。

現在は杉谷キャンパスの学術系サークルの部長として、留学生との交流や勉強会、地域との交流イベントの企画・運営に取り組んでいます。また、大学の国際サポーターとして留学生支援も行っています。

杉谷キャンパスには多くの留学生が在籍しており、年齢やバックグラウンドも多様です。奨学金の獲得や語学習得のために努力を重ねながら、日本で学ぶ機会をつかむ姿勢に触れる中で、自分自身も大きな刺激を受けています。

大学での学びは、知識を得ることそのものの面白さに満ちています。1年次の教養教育では、以前から興味があった現代物理学の講義を履修し、専門分野以外にも視野を広げられることが総合大学の魅力だと感じました。2・3年次を中心に学ぶ臨床医学では、実生活に結びつく学びが多くあります。整形外科の内容を学んだ際には、足腰に不安を抱える祖母に知識を伝えることができ、学びが日常生活の中でも活かされることを実感しました。2年後期には、看護学科で新たに実施されたマレーシアでの看護研修に初期参加生として参加しました。海外の医療や医学教育、生活環境に直接触れることで、日本との違いだけでなく共通点も実感し、医療をより広い視点から考えるきっかけとなりました。3年次には解剖実習の見学を通して、死生観について深く考える経験をさせていただきました。

大学生活を通じて強く感じるのは、「行動することで初めて見える世界がある」ということです。1・2年次から学内外の様々な活動に挑戦したことで多くの出会いや学びに恵まれ、その後の進路や価値観の広がり、新たな選択肢につながりました。現在は現場に加え、政策や行政といった側面から医療に関わることに興味を持っています。

大学での学びは、単に職業に直結するものではなく、自分の世界の見方を広げるものだと思います。大学生活では、不安や迷いもあると思いますが、自分から一歩踏み出した先にはきっと今まで知らなかった世界や出会いが待っています。皆さんにもぜひ富山大学で、自分の可能性を広げる学生生活を送っていただければと思います。

総合実習



課外活動紹介

杉谷キャンパスでは 47 の大学公認課外活動団体（部活動・サークル）が活動しています。
多くの学生が所属しており、医・看・薬の学部・学科の枠を超えて交流を深めています。
また、五福キャンパスの団体に参加し、活動の幅を広げている学生もいます。



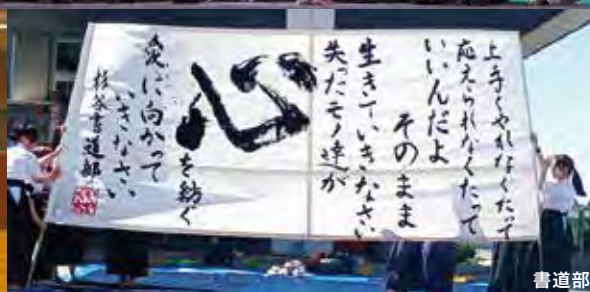
ウインドサーフィン部



ストリートダンス部



卓球部



書道部



山岳部



医学薬学祭実行委員会



三曲会



ギターマンドリンクラブ



山岳部

〈体育系〉

ITFテコンドー部／アーチェリー部／ウインドサーフィン部／弓道部／競技スキー部／剣道部／硬式テニス部／ゴルフ部／サッカー部／山岳部／準硬式野球部／女子軟式野球部／女子バスケットボール部／女子バレーボール部／女子ハンドボール部／水泳部／ストリートダンス部／軟式テニス部／武田流中村派合気道部／卓球部／男子バスケットボール部／男子バレーボール部／男子ハンドボール部／バドミントン部／養神館合気道部／ラグビー部／陸上競技部

〈文化系〉

ESS/peer☆yacha/TULid/医学薬学祭実行委員会/医薬 classicサークル/ウインドアンサンブル/管弦楽団/ギターマンドリンクラブ/救急医学勉強会 SALT/軽音楽部/コーラス部/国際医療研究会/茶道部/三曲会/写真部/ジャズ研究部/しゃべんかい/小児科訪問サークル・青い鳥/書道部/美術部



大学公認課外活動団体一覧

医学部薬学部弓道部



創部50周年を迎えた医学部薬学部弓道部は、現在過去最多の100名を超える部員が在籍する活気あふれる部活動です。大学構内にある弓道場で、週3日、段

級審査や大会等、各々の目標に向けて稽古に励んでいます。部員の多くが大学からの初心者ですが、経験の違い、学年の違いを超えて互いに切磋琢磨し合い、大会入賞者も出るなど活躍の場を広げています。競技としての弓道に打ち込む部員もいれば、自分のペースで武道としての弓道を楽しむ部員もあり、それぞれのスタンスで成長できる環境が整っています。

医薬 classic サークル



私たち医薬classicサークルは、小規模なサークルではありますが、演奏技術を高めることを目指し励むとともに、部員同士の交流を深め、楽しく活動しています。2025年度は、

春に定期演奏会、夏に富山大学附属病院で、秋には富山県立中央病院で院内コンサートを開催しました。私たちの活動は、個々での練習がメインではありますが、互いの演奏にアドバイスしたり、部員同士でアンサンブルを組んだり、また、楽器演奏を得意とされる医師の先生方にご指導いただくなど、日々、意見を出し合い工夫して取り組んでいます。患者さんやご家族に少しでも安らぎの時間をお届けできるよう、引き続き精進してまいります。

国際医療研究会



国際医療研究会KIKでは、留学生との交流や勉強会、地域交流イベント、漢方カフェ、ぬいぐるみ病院など、多様な活動を行っています。活動を通して、異なる背景を持つ人々との

理解を深め、地域的・国際的な視点から医療や健康について考える力を養うことを目指しています。イベントの企画・運営は学生主体で行っており、活動を通して企画力やマネジメント力を身につけることもできます。活動は不定期で、自分のペースで参加しやすく、兼部しているメンバーも多くいます。交流や新しい出会い、挑戦が好きな人、イベントの企画や運営をやってみたい人、大学生活の中で視野や進路の可能性を広げたい人は、ぜひ一緒に活動しましょう！

杉谷キャンパス サッカー一部



サッカー部は、週3日、杉谷キャンパスにて医学部・薬学部合同で活動しています。現在プレーヤー40名、マネージャー13名が在籍し、学年の垣根を越えて和気あ

いあいと切磋琢磨しています！夏に控える西医体や関関での勝利を目指し、部員全員が立山より高い志を持って真剣に練習に励む一方、遊園地旅行やスノボ合宿などの行事も充実。ハードな勉強の合間に、最高の仲間と汗を流して全力で楽しむ時間は格別です。オンとオフの切り替えを大切に、心身を鍛える充実した学生生活を一緒に送りませんか？初心者から経験者まで大歓迎！お待ちしております！

養神館合気道部



養神館合気道とは、合理的な体の使い方により力を使わず相手を制する、実践性と修練の体系化を重んじる武道です。難しく聞こえるかもしれませんが、つまりは人の体の構造上、

このように動くとき相手がバランスを崩すよ、という筋力に頼ることのない非常に効率的な武道です。私たち養神館合気道部は、合気道の基礎から丁寧に学び、昇級昇段審査や演武大会に挑戦しています。部員はほぼ全員が初心者であり、先輩や師範の指導のもと練習に励みます。2025年度は、全国大会の複数部門で優勝し、学長表彰をいただきました。量の上で仲間と共に活動し、心身ともにしなやかな強さを手に入れることは、己の確かな自信へとつながります。

小児科訪問サークル・青い鳥



小児科訪問サークル青い鳥は、附属病院の小児科病棟に入院中の子どもたちに楽しい時間を過ごしてほしいという思いから発足したサークルです。コロナ禍以降は活動の拠点を地

域に移し、子ども食堂のお手伝いをしたり、小児がん支援の募金活動に参加したりしています。ほかにも、子ども向けイベントの企画運営や、手話の勉強会など活動の幅は広く、子どもと関わりたい、地域に根ざした活動をしたいという方にはぴったりのサークルです。大学の授業だけでは学べないこと、学生の今しかできないことを、一緒に地域に出て実践してみませんか？皆さんの入学、入部をお待ちしています！

令和8年度入学状況

	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	入学者内訳			
					男子	女子	現役	既卒等
医学科	105	306	106	105	68	37	36	69
看護学科	80	223	85	80	0	80	75	5

令和9年度入試情報

※変更の可能性があるため令和9年度入試の詳細については、最新の募集要項でご確認ください。

募集人員(予定)

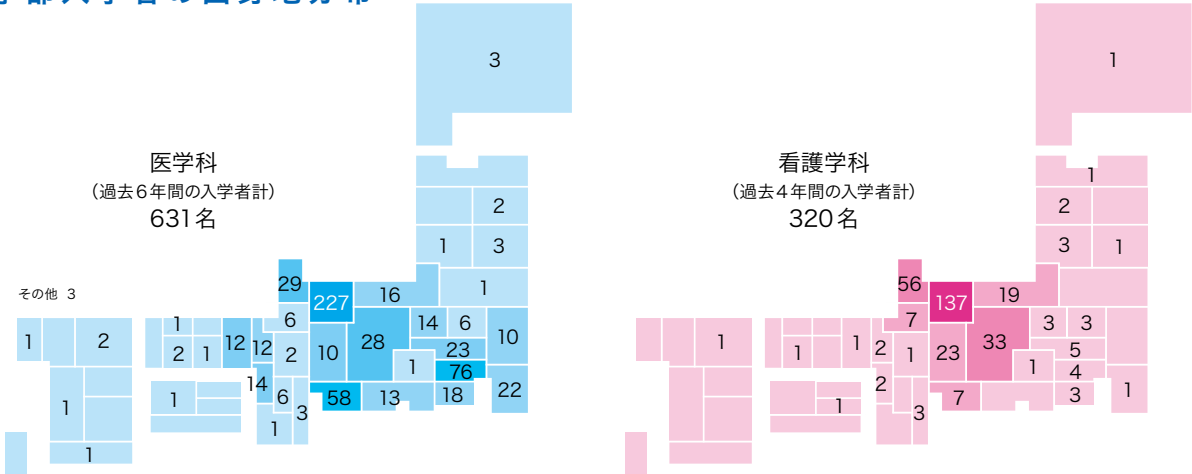
	一般選抜		学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅱ「富山大学地域枠」 (富山県出身者対象)	学校推薦型選抜Ⅱ「富山大学地域枠」 (隣接県出身者対象)	総合型選抜Ⅱ「富山大学地域枠」	総合型選抜Ⅱ「富山県特別枠」※	総合型選抜Ⅱ「新潟県特別枠」※	帰国生徒選抜	社会人選抜	私費外国人留学生選抜	計	編入学試験
	前期日程	後期日程											
医学科	68	—	—	15	2	10	10	2	若干名	—	若干名	105	5(第2年次)
看護学科	50	10	20	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名	80	10(第3年次)

※一部の選抜については文部科学省の審査を受けて決定するため、今後変更となる場合があります。

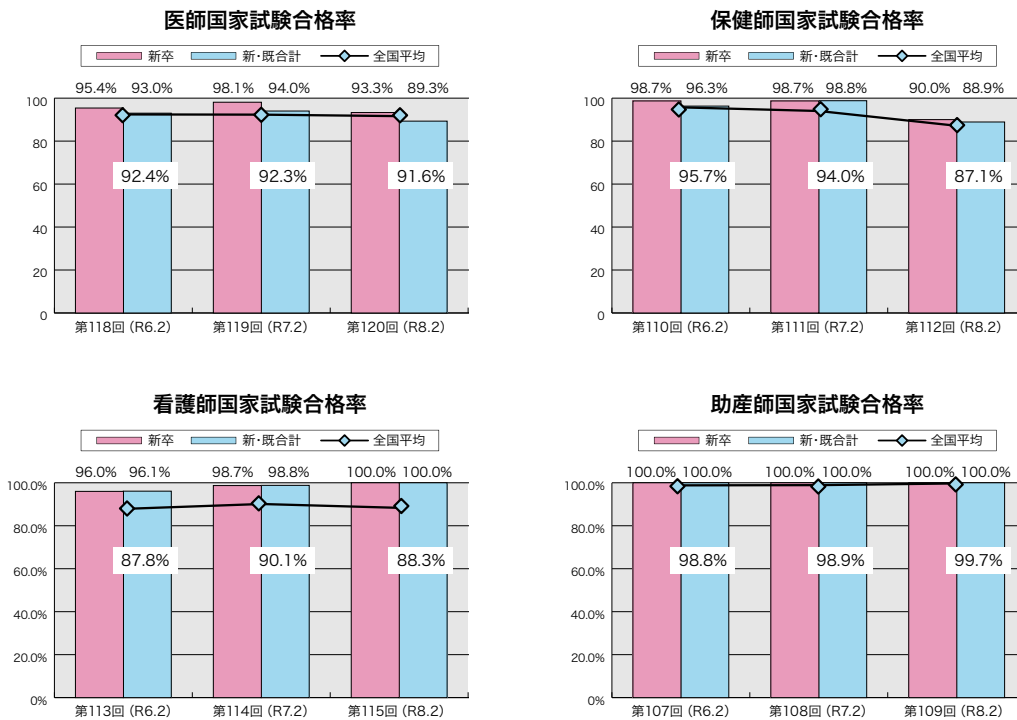
入試日程

	入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
医学科	一般選抜（前期日程）	令和9年1月25日(月)～2月3日(水)	令和9年2月25日(木)・26日(金)	令和9年3月8日(月)	令和9年3月15日(月)
	学校推薦型選抜Ⅱ「富山大学地域枠」 （富山県出身者対象） （隣接県出身者対象）	令和8年11月13日(金)～19日(木)	令和8年12月14日(月)	令和9年2月9日(火)	令和9年2月17日(水)
	総合型選抜Ⅱ「富山大学地域枠」				
	総合型選抜Ⅱ「富山県特別枠」				
	総合型選抜Ⅱ「新潟県特別枠」				
	帰国生徒選抜	令和9年1月18日(月)～22日(金)	令和9年2月25日(木)・26日(金)	令和9年3月8日(月)	令和9年3月15日(月)
	私費外国人留学生選抜		令和9年2月25日(木)		
	編入学試験（第2年次）	令和8年7月27日(月)～31日(金)	第1次：令和8年9月6日(日) 第2次：令和8年11月8日(日)	第1次：令和8年10月2日(金) 第2次：令和8年11月27日(金)	令和8年12月11日(金)
看護学科	一般選抜（前期日程）	令和9年1月25日(月)～2月3日(水)	令和9年2月25日(木)	令和9年3月8日(月)	令和9年3月15日(月)
	一般選抜（後期日程）		令和9年3月12日(金)	令和9年3月21日(日)	令和9年3月27日(土)
	学校推薦型選抜Ⅱ	令和8年11月13日(金)～19日(木)	令和8年12月14日(月)	令和9年2月9日(火)	令和9年2月17日(水)
	帰国生徒選抜			令和8年12月25日(金)	
	社会人選抜				
	私費外国人留学生選抜	令和9年1月18日(月)～22日(金)	令和9年2月25日(木)	令和9年3月8日(月)	令和9年3月15日(月)
	編入学試験（第3年次）	令和8年7月6日(月)～10日(金)	令和8年8月3日(月)	令和8年8月28日(金)	令和8年9月11日(金)
大学入学共通テスト		試験日：令和9年1月16日(土)・17日(日)			

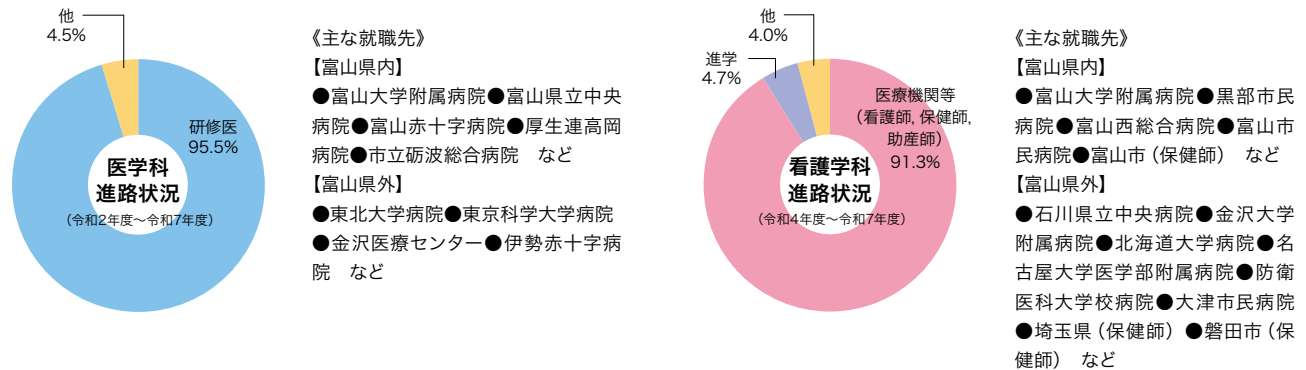
医学部入学者の出身地分布



国家試験合格状況（過去3年）

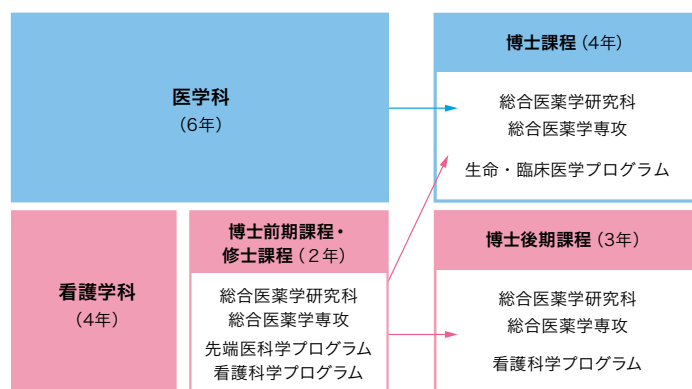


医学部卒業者の進路状況



大学院

構成



募集人員

博士前期課程・修士課程	
総合医薬学専攻	
先端医科学プログラム	6人
看護科学プログラム	8人
博士後期課程	
総合医薬学専攻	
看護科学プログラム	3人
博士課程	
総合医薬学専攻	
生命・臨床医学プログラム	30人

アクセス



●詳しくはホームページでご確認ください。

【東京から】・羽田空港から富山空港へ(約1時間)
・北陸新幹線でJR富山駅へ(約2時間10分)

【大阪から】・JR大阪駅からJR敦賀駅へ
北陸新幹線に乗り換え(約3時間)
・名神高速道路～北陸自動車道～富山I.C.

【名古屋から】・JR名古屋駅からJR敦賀駅へ
北陸新幹線に乗り換え(約3時間20分)
・名神高速道路～東海北陸自動車道～
北陸自動車道～富山I.C.

【北海道から】・札幌・新千歳空港から富山空港へ
(約1時間30分)

五福キャンパス & 杉谷キャンパス



【富山駅前から五福キャンパスへ】
・市内電車:「富山大学前」行き、「富山大学前」下車(約15分)
・路線バス:「富山大学前経由」(4番乗り場),
「富山大学前」下車(約20分)

【富山駅前から杉谷キャンパスへ】
・路線バス:「富山大学附属病院循環」(4番乗り場),
「富山大学附属病院」下車(約30分)

※杉谷キャンパス内の外来専用駐車場が手狭なため
ご来学にあたっては、なるべく公共の交通機関等
をご利用くださいますようお願いいたします。

※杉谷キャンパス: 医学部、薬学部、
富山大学附属病院、和漢医薬学総合研究所

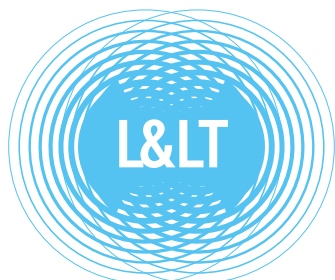
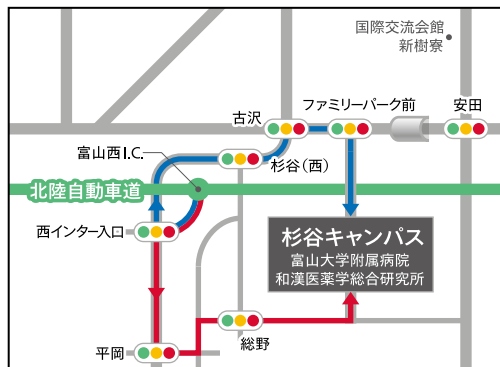
※五福キャンパス: 人文学部、教育学部、経済学部、
理学部、工学部、都市デザイン学部

※高岡キャンパス: 芸術文化学部

※五艘地区: 富山大学教育学部附属学校園

※寺町地区: 国際交流会館、新樹寮

富山西I.C.から杉谷キャンパスへ



Live & Learn in Toyama.

富山で学ぶ。富山大学で学ぶ。

表紙写真:「水が刻む軌跡 宮島峡の清流」

撮影:イナギヤスト



医学部ウェブサイト:

<http://www.med.u-toyama.ac.jp>

※二次元コードからアクセスできない場合は、URLを直接入力してください。



富山大学 医学部

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

Tel. 076-434-7138

E-mail: nyuushi@adm.u-toyama.ac.jp

※掲載情報は2026年4月現在のものです。

最新情報はWebサイトにてご確認ください。

2026.04

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。